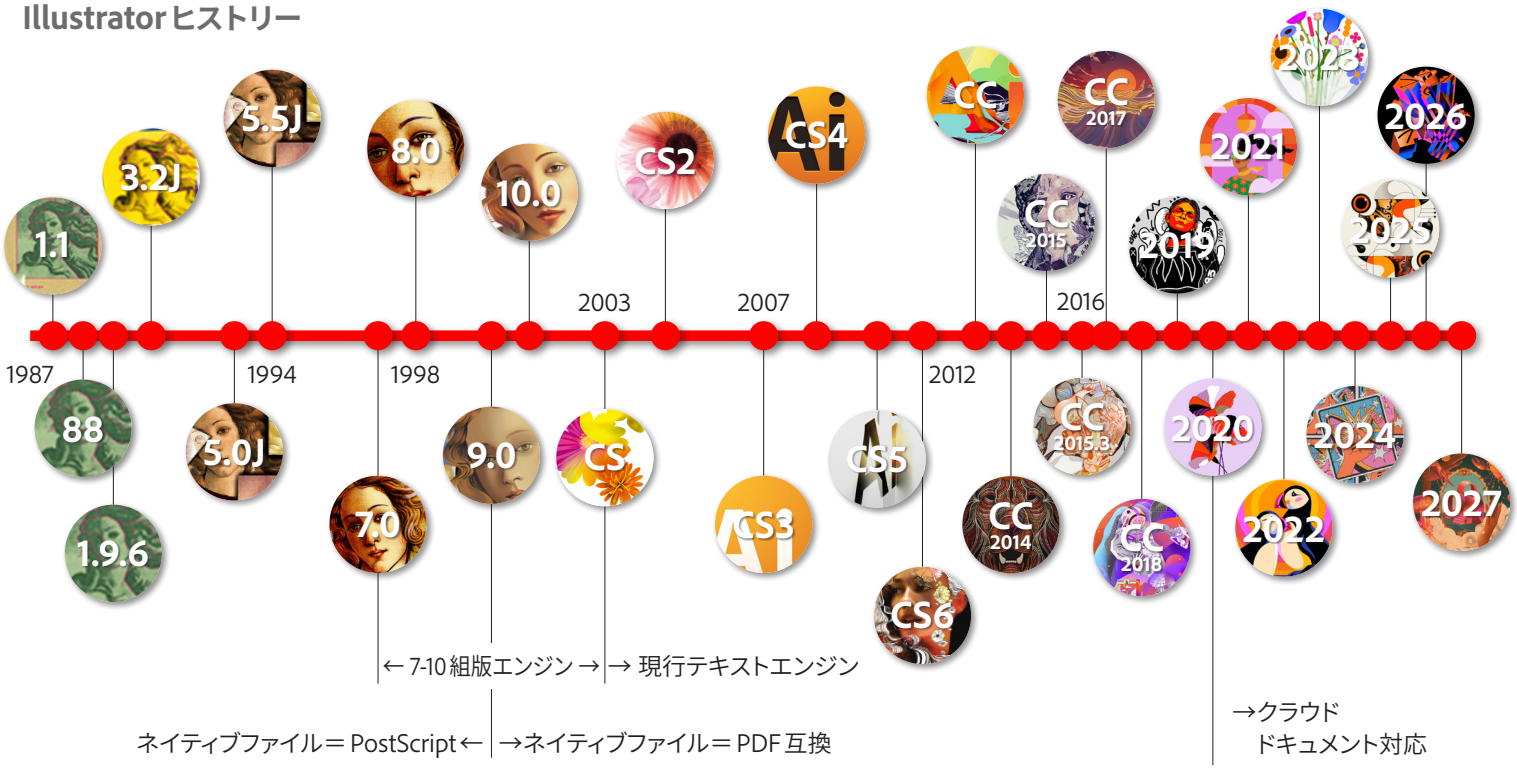
Adobe

Adobe Illustrator

互換性ガイドブック 2027

Illustratorドキュメントについて

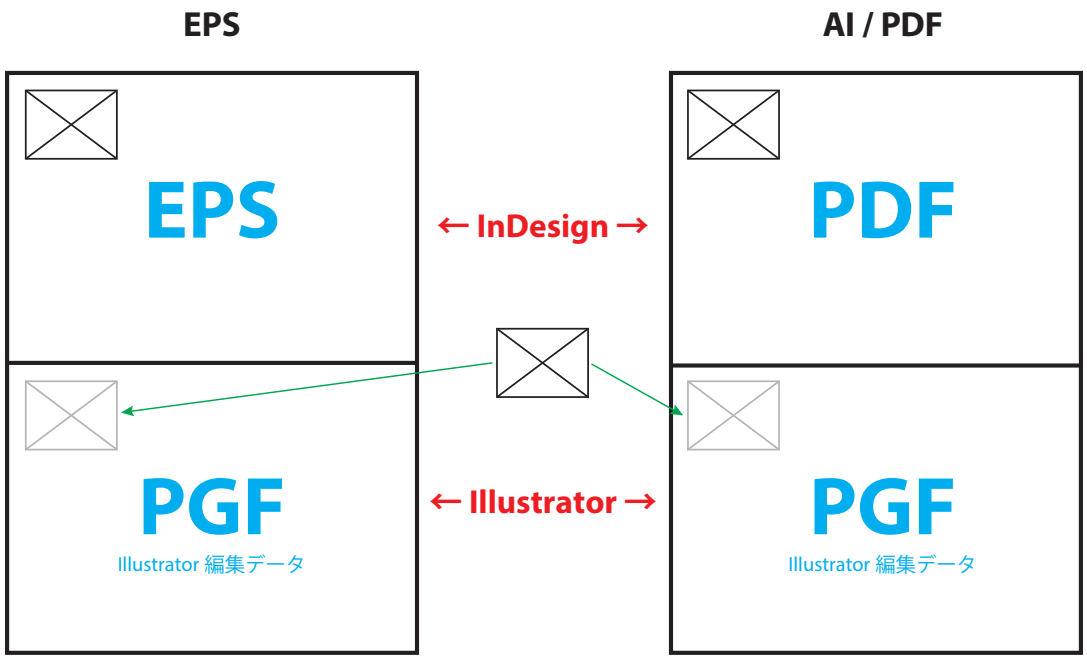
Illustratorヒストリー



Illustratorファイル形式のデータ構造

Illustrator 9.0 以降、ネイティブファイルはPDF形式で記述されています。

Adobe Illustrator (ai) 形式：	PDF形式	＋	Illustrator編集データ
Adobe PDF (pdf) 形式：	PDF形式	＋	Illustrator編集データ
Illustrator EPS (eps) 形式：	EPS形式	＋	Illustrator編集データ



Illustratorドキュメントの互換バージョンについて

Illustratorのバージョンについて

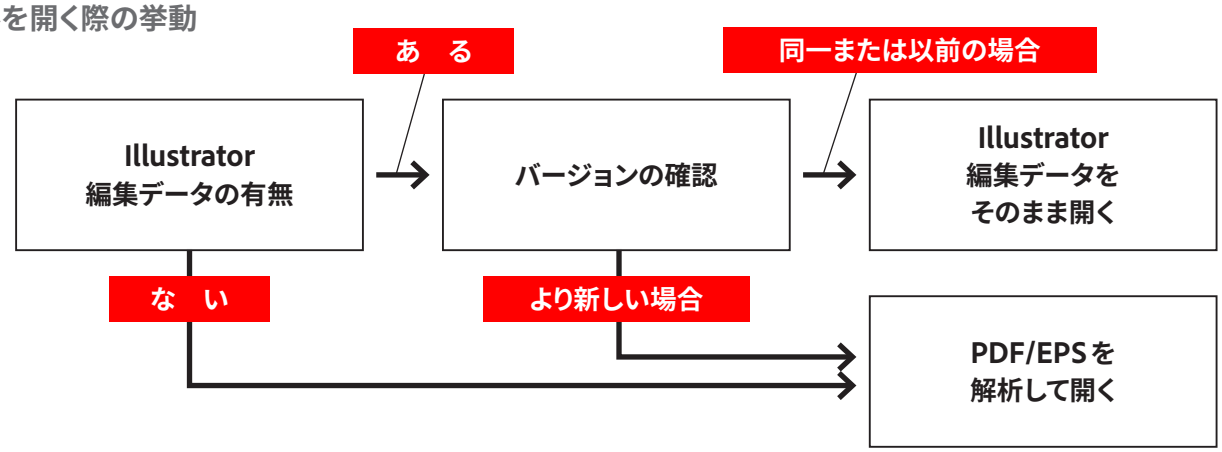
	テクニカルバージョン番号	ドキュメントの互換バージョン	アプリの最終バージョン
Illustrator 2027	31	Illustrator 2020	v 31.0.0
Illustrator 2026	30		v 30.8.2
Illustrator 2025	29		v 29.8.11
Illustrator 2024	28		v 28.7.10
Illustrator 2023	27		v 27.9.6
Illustrator 2022	26		v 26.5.3
Illustrator 2021	25		v 25.4.8
Illustrator 2020	24		v 24.3.2
Illustrator 2019	23	Illustrator CC	v 23.1.1
Illustrator CC 2018	22		v 22.1.0
Illustrator CC 2017	21		v 21.1.0
Illustrator CC 2015.3	20		v 20.1.0
Illustrator CC 2015	19		v 19.2.1
Illustrator CC 2014	18		v 18.1.1
Illustrator CC	17		v 17.1.0
Illustrator CS6	16	Illustrator CS6	v 16.2.2 / 16.0.5
Illustrator CS5	15	Illustrator CS5	15.1.0
Illustrator CS4	14	Illustrator CS4	14.0.0
Illustrator CS3	13	Illustrator CS3	13.0.3
Illustrator CS2	12	Illustrator CS2	12.0.1
Illustrator CS	11	Illustrator CS	11.0.1
Illustrator 10	10	Illustrator 10	10.0.3

保存形式について

最新バージョンでは、Illustrator 2020 互換形式で保存されます。



ファイルを開く際の挙動



Illustratorドキュメントの互換バージョンについて

Illustratorドキュメントの推奨運用

●企業内、プロジェクト内でのベストプラクティス

アプリのバージョンを統一して運用	運用ポリシーを制定する

●データ交換時のベストプラクティス

ドキュメントファイルを保存した際のアプリバージョンを確認し、必ず同一バージョンで取り扱う
保存時のアプリバージョン情報はファイルから収集しづらいので、別途確認を行う

●印刷入稿時のベストプラクティス

PDF入稿を強く推奨
ネイティブ入稿：保存した際のアプリバージョンを確認し、必ず同一バージョンで取り扱う

互換バージョンに関する懸念

Illustratorで作成されたドキュメントは、最新版のIllustratorで編集することを推奨します。 以前のバージョンのIllustratorで開いたり編集した場合、一部機能の互換性が確保されません。企業内やプロジェクト内でデータを共有したり、交換する可能性がある場合、運用ポリシーを策定し、必ずアプリのバージョンをマイナーバージョンも含めて統一して運用することを強く推奨します。

印刷入稿用データに関して、データ交換の安定性をはかる観点で、環境に依存せず出力の安定を図ることが可能なPDF入稿、PDFデータ交換への切り替え検討を強く推奨します。ネイティブ入稿の場合は、制作時最後にファイルを保存した際に利用したアプリバージョンをマイナーバージョンも含めて確認し、必ず同一バージョンで取り扱うようにしてください。

Illustrator 2020以降では、互換バージョン（ファイルバージョン）がIllustrator 2020のままですが、テキストエンジンは改善されているので、異なるIllustratorバージョン間でファイルを開くと組版や体裁が変化する可能性があります。これにより、バージョンの異なるIllustrator間でデータ交換を行う作業には大きなリスクや作業負荷がかかることが予想されます。運用方法によっては警告表示が出ることにより事前に認識が可能ですが、特に在版データや、印刷入稿データとしてIllustratorドキュメントを取り扱う場合には、細心の注意が必要です。

アプリケーションのインストールに関して、個人版およびCreative Cloudデスクトップでは、最新版と1世代前のバージョンのみが入手可能です。法人プランの場合、Admin Consoleを通してインストーラーパッケージをあらかじめ作成しておくことで、それ以外のバージョンのインストールをある程度まで保全することが可能です。

テキストエンジンの改善と文字組み更新機能

テキストエンジンの改善

Illustrator 2025（v 29）以降、テキストエンジンの改善が行われています。この改善に伴い、バージョンの異なるIllustrator間でデータ交換した場合、組版結果（テキストレイアウト、文字位置）が異なる場合があります。
影響を受ける割合はテキストの状態によって大きく異なり、ポイント文字（テキストオブジェクト）の場合、縦組みや「オプティカル」カーニングを適用している場合を除いて、あまり影響を受けることはありません。逆にエリア内文字（テキストフレーム、テキストボックス相当）の縦書きの場合、文字位置や改行位置が変更される可能性があります。

バージョン間のテキスト更新の挙動一覧

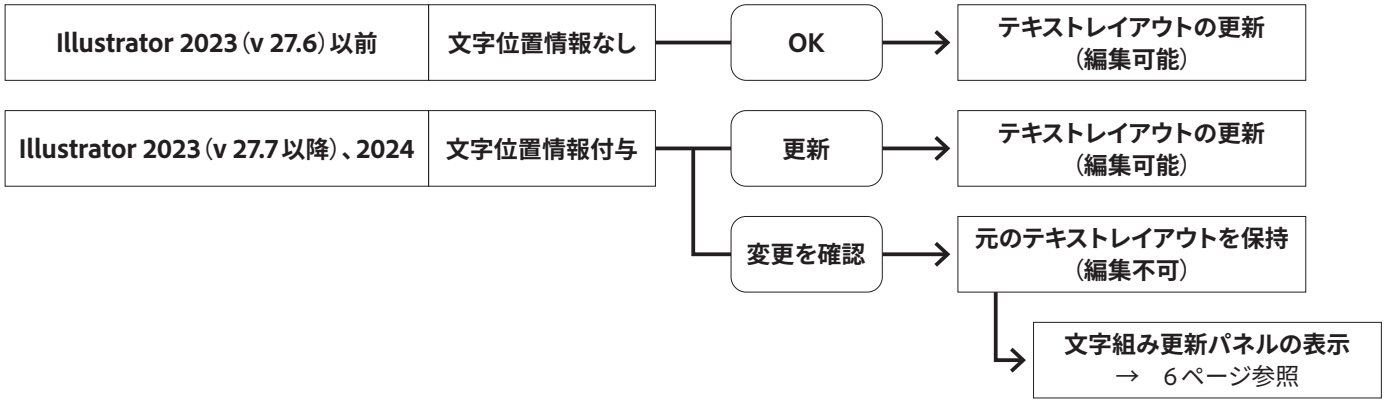
<table>
<tr><th>作成アプリバージョン</th><th>互換（保存）バージョン</th><th colspan="2">開く際の挙動</th><th>ダイアログを閉じた後の挙動</th><th colspan="2">テキスト編集時の挙動</th><th>テキスト更新</th></tr>
<tr><td colspan="8">Illustrator 2025（v 29）以降の挙動</td></tr>
<tr><td rowspan="3">v 29 以降</td><td>Illustrator 2020</td><td colspan="2">なし</td><td>変更なし（再現する）</td><td colspan="2">編集可能</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">以前の互換バージョン</td><td rowspan="2">下記のダイアログが表示されます
</td><td>OK</td><td>変更なし（再現する）</td><td colspan="2">編集可能</td><td></td></tr>
<tr><td>キャンセル</td><td colspan="4">ファイルを閉じる</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">v 27.7 以降</td><td rowspan="3">Illustrator 2020</td><td rowspan="3">下記のダイアログが表示されます
</td><td>更新</td><td colspan="4">すべてのテキストが更新され、リフローが発生する場合がある</td></tr>
<tr><td>変更を確認</td><td>変更なし（再現する）</td><td colspan="3">文字組み更新パネルを表示　＞6ページ参照</td></tr>
<tr><td>キャンセル</td><td colspan="4">ファイルを閉じる</td></tr>
<tr><td>以前の互換バージョン</td><td rowspan="3">下記のダイアログが表示されます
</td><td rowspan="2">OK</td><td colspan="4" rowspan="2">すべてのテキストが更新され、リフローが発生する場合がある</td></tr>
<tr><td>v 27.6 以前</td><td>Illustrator 2020</td></tr>
<tr><td>以前の互換バージョン</td><td>キャンセル</td><td colspan="4">ファイルを閉じる</td></tr>
<tr><td colspan="8">Illustrator 2025（v 29）以降で作成したドキュメントを以前のバージョンで開く場合</td></tr>
<tr><td>v 29 以降</td><td>Illustrator 2020</td><td colspan="2" rowspan="2">なし</td><td rowspan="2">変更なし（再現する）</td><td rowspan="2">下記のダイアログが表示されます
</td><td>OK</td><td>選択したテキストが更新され、リフローが発生する場合がある</td></tr>
<tr><td>v 29 以降</td><td>以前の互換バージョン</td><td>キャンセル</td><td>変更なし</td></tr>
<tr><td colspan="8">以前のバージョンの挙動</td></tr>
<tr><td>v 28 以前のバージョン</td><td>Illustrator 2020</td><td colspan="2" rowspan="2">なし</td><td rowspan="2">変更なし（再現する）</td><td colspan="3" rowspan="2">編集可能</td><td></td></tr>
<tr><td>v 28 以前のバージョン</td><td>以前の互換バージョン</td></tr>
</table>

※v 10 以前の互換バージョンについての挙動は、18 ページを参照してください。

テキストエンジンの改善と文字組み更新機能

文字位置情報の付与

文字位置情報が付与されていないIllustrator 2023（v 27.6）以前のバージョンで保存されたドキュメント、および以前の互換バージョンで保存されたドキュメントの場合、表示されたダイアログでOKボタンをクリックすると、ドキュメントを開いた時点ですべてのテキストレイアウトが更新されます。この場合、更新前のテキストレイアウトを確認することができません。また、元のテキストレイアウトを保持することもできません。
元のテキストレイアウトを保持したい場合、あらかじめ、文字位置情報が付与されるIllustrator 2023（v 27.7以降）、Illustrator 2024（v 28）で保存し直してください。あるいは、事前に懸念箇所でアウトラインを作成してください。



プラグインのご案内
下記より、Illustrator 2024、Illustrator 2023（v 27.7以降）向けの文字位置情報を付与するプラグインが配布されています。
文字位置情報付与に対応しているIllustratorでファイルを保存したのに、「更新 / 変更を確認」ボタンがあるダイアログが表示されない場合や、複数ファイルを一括処理したい場合にご利用ください。

Illustratorヘルプ：文字組み更新機能の操作 | 文字組み保存プラグインでテキストレイアウトの再保存
https://helpx.adobe.com/jp/illustrator/using/reflow-viewer.html

ブログ記事
https://blog.adobe.com/jp/publish/2024/10/09/cc-design-illustrator-text-update-4

インストールや操作方法、使用上の注意については、ブログ記事あるいはヘルプを参照してください。
プラグインをインストールすると、Illustrator 2023/2024のファイルメニューに「文字位置情報を保存」というコマンドが表示されます。ファイルを開いた状態の場合、別名で保存を選択することができます。
一括処理をしたい場合には、ファイルメニュー＞文字位置情報を保存＞一括更新 / 一括更新（サブフォルダを含む） を選択します。

Illustrator 2025（v 29）以降で作成されたドキュメントの扱い

Illustrator 2025（v 29）以降で作成されたIllustratorドキュメントを、互換バージョン「Illustrator 2020」に対応したバージョンのIllustratorで開いた場合、そのまま開くことができます。この場合、文字位置情報は更新されず維持します（アピアランスが適用されているテキストを除く）。しかし、編集を行うためにテキストをクリックをすると「テキストレイアウト更新」のダイアログが表示され、開いたIllustratorのバージョンの持つテキストエンジンでテキストは再構成されます。
このドキュメントを再びIllustrator 2025以降で開こうとすると、テキスト更新のダイアログが表示され、バージョン間をまたいでIllustratorドキュメントを開く度に、テキストが更新、テキストレイアウトが変更されてしまう可能性があります。

Illustrator 2025以降では、多くのテキスト関連の不具合や仕様を改善しており、以前のバージョンとテキストレイアウトの挙動が変わる場合があります。Illustratorドキュメントのバージョンをまたいだファイルのやりとりに注意をするとともに、必ず作成したバージョンと同一のバージョン（マイナーバージョンも含む）で開くようにしてください。

テキストエンジンの改善と文字組み更新機能

文字組み更新パネル

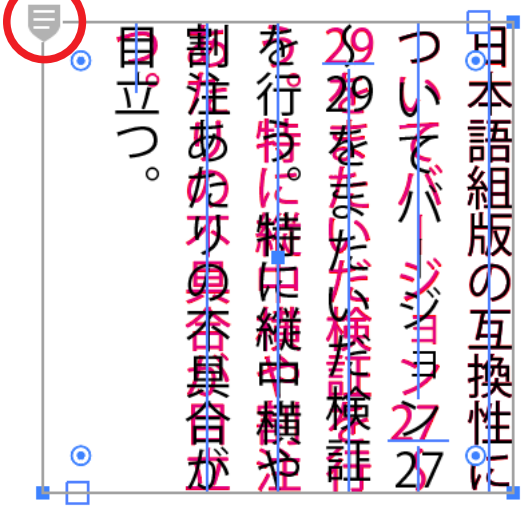
Illustrator 2025（v 29）から搭載された文字組み更新パネルは、文字位置が変更される箇所や変化状態を確認できる機能です。文字位置を変更しない状態を維持したり、更新時に変化状態を確認しながら作業することができます。
文字組み更新パネルを利用するには、文字位置情報を把握できるようにする処理が必要で、Illustrator 2023（v 27.7）以降でドキュメントを保存し直す必要があります。

文字組み更新パネルを表示するには
・ファイルを開いて文字組み更新の警告ダイアログが表示された際、「変更を確認」をクリックします。
あるいは、
・ウィンドウメニュー＞書式＞文字組み更新　を選択します。



マークを表示
文字組み更新パネルでは、変更されるテキストオブジェクトをハイライト表示することができます。「更新されるオブジェクトをマーク」にチェックを入れると、対象となるテキストにフレームとマークが表示されます。
文字組み更新パネルは、ごくわずかな文字位置の変更も検出します。そのため、目視では確認が難しい箇所でも、変更点としてマークされることがあります。

※マークをクリックするとテキストが更新されます



テキストの更新
テキストを更新するには、テキストオブジェクトをダブルクリックします。表示されるダイアログで「続行」を選ぶとテキストが更新され、編集できる状態になります。

テキストの更新は、文字組み更新パネルから行なうこともできます。
パネル右下の「すべて更新」を押すと、ドキュメント上のすべてのテキストが更新されます。
一部の文字組みを維持したい場合など、テキストを個別に更新するときは、更新するテキストオブジェクトを選択し、パネル左下の「選択項目を更新」をクリックします。

テキストレイアウトの変更確認
テキストの変更点を確認するには、「テキストレイアウトの変更確認」をオンにします。テキストレイアウトの表示で、更新前のテキスト／更新前と後を重ねて表示／更新後のテキスト、の3パターンで表示するテキストを切り替えることができるほか、元のテキスト／更新後のテキストそれぞれに色を割り当てて重ねることで、テキストの変更点をプレビューすることができます。

変更をハイライト表示
変更をハイライト表示では、以下の表示を追加することができます。

折り返し位置：折り返し位置（改行位置）が変わる箇所を［　］でマークする
字送り：字送りが変わる箇所を赤のマーカー表示にする
行送り：行送りの位置が変わる箇所を緑のラインで表示する

環境にないフォントの注意点

テキストが以下の状態の場合は、文字組み更新機能の対象とはなりません。
・テキストで元々使われたフォントがシステム上に無く、代替フォントで表示されている場合
・テキストで元々使われたフォントと現在システム上にあるフォントのバージョンが異なる場合

「オプティカル」カーニングの問題

カーニングの「オプティカル」プリセットは、主にペアカーニングを搭載していない欧文フォント向けに開発された古い機能で、日本語フォントへの適用は想定しておらず、非推奨です。「オプティカル」カーニングを適用している場合、フォントによっては、文字位置が変更になる可能性があります。この現象は、Illustrator 2025（v 29）でのテキストエンジン改善前のIllustrator 2023（v 27.7）から発生します。文字組み更新パネルでの新旧比較の対象にはなりません。

テキストエンジンの改善と文字組み更新機能

文字組み更新の要点

- すべてのテキストが更新対象になるわけではありません。
- 更新対象のテキストであっても、目視では差がほとんどわからない場合があります。
- 縦組み、縦中横、割注などが適用されているものは更新対象になる可能性があります。
- ポイント文字、パス上文字が更新対象になる可能性は比較的低いです。
- 「オプティカル」カーニングを適用している場合は、組版結果が異なる可能性があります。

韓国語組版の改善

Illustrator 2027（v 31）では、韓国語組版の改善が行われています。詳しくは下記を参照ください。この改善によって、日本語組版に影響が出ることはありません。

韓国語テキストの改行を設定
https://helpx.adobe.com/jp/illustrator/desktop/design-with-text/fonts-and-scripts/set-line-breaks-korean-text.html

Illustrator 2027（v 31）– 2025（v 29.1）テキストエンジンの日本語組版関連改善項目一覧

項目	改善された不具合の内容
カーニング	2行目もしくは3行目以降の行頭に、カーニングが適用されない
縦中横	縦中横の位置設定の際、ポイントサイズの値に小数点があると数値が丸められる
縦中横	縦中横のテキストに、傍線が適用されない
縦中横	縦中横を設定したテキストに、縦中横設定で上下左右位置の値を設定しても反映されない
縦中横	縦中横のテキストに手動でアキを入れ、字幅を変更するとアキ量不正が発生
縦中横	縦中横が行頭・行末にあり、段落が下揃えまたは両端揃えの場合、縦中横の上下のスペースが不正
縦中横	行中に異なるフォントサイズが使われている場合、縦中横が本文の中心と揃わない
ぶら下がり	ぶら下がり強制の場合に、始め括弧がテキストエリアの外に出る
ぶら下がり	ぶら下がり設定を「標準」に指定し、文字組み設定を「なし」に適用した際に、句読点がテキストフレームの右端に重なる
行揃え	欧文テキストを両端揃えにし、文字組み設定を適用すると最終文字に余分な余白が生じる
行揃え	ポイントテキストの行末揃えの際に、欧文テキストが入っていると行末が揃わない
文字組み	両端揃え、強いぶら下がり設定、強い禁則設定を指定したテキストで、句読点前の文字がテキストフレームからはみ出す
スレッドテキスト	縦組みのエリア内文字と長方形ツールで作成したシェイプを選択して、スレッドテキストを選択しても適用されない
回転文字	回転文字に文字組みが適用された場合、アキが最適ではない
回転文字	回転された句読点の位置の不正
アキ量	繰り返し記号（U+3033、U+3035）の前後のアキ量が同等にならない
縦組み	縦組みで強い禁則を設定した際に、閉じ鉤括弧（U+FE42）が行頭に来る
タブ	テキストにタブリーダーが挿入された場合、句読点がテキストフレームの右端に重なる

テキストエンジンの改善と文字組み更新機能

Illustrator 2025（v 29）テキストエンジンの日本語組版関連改善項目一覧

項目	改善された不具合の内容
カーニング	「メトリクス」カーニングの場合に、文字がテキストエリアに収まらない場合がある
カーニング	「オプティカル」カーニングの場合に、文字がテキストエリアに収まらない場合がある
カーニング	「和文等幅」カーニングの場合に、カーニングが適用されない和文以外の文字がある
トラッキング	トラッキングを適用した場合に、最後の文字がテキストエリアからオーバーフローする
縦中横	縦中横の文字にカーニングを適用した時の文字位置が字送り方向に移動する
縦中横	縦中横を含む行の両端揃え時のレイアウト不正
割注	割注を利用した際の両端揃え、中央揃えのレイアウト不正
割注	割注がある文章の改行位置に対するテキスト配置の不正
割注	横書きテキスト内の割注の配置の不正
割注	割注内で使用されている文字の垂直比率が変更された場合、割注の行の位置がずれる
合字	合字が含まれたテキストの両端揃えのレイアウト不正
分離禁止文字	分離禁止文字が分離する
繰り返し文字	繰り返し文字が分離する
行の基準	エリア内文字において、テキストを中央揃えあるいは下揃えにした場合の行位置のずれ
ぶら下がり	ぶら下がりを適用した時に文字組み＝行末約物全角で全角にならない
ぶら下がり	ぶら下がり強制の場合に文字がテキストエリアの外に出る
文字組み、禁則処理	文字コードがU+FFFFより大きい文字の場合に、文字組み、禁則処理が対象外になる
文字組み	行末の中黒の幅が狭い
アキ量	1バイト数字と2バイト数字の数字間のアキ量の不統一
アキ量	カスタム文字組みセットを使用した場合に、日本語文字とラテン文字の間隔が正しく動作しない
アキ量	両端揃えのテキストにおいて、全角スペースと日本語文字の間のアキが不正
縦組み	文字の水平比率 / 垂直比率が調整された場合の縦組みのアキ量不正
縦組み	縦組みの場合のハイフンの回転不正
縦組み	縦組みの括弧の後に余分なアキ
縦組み	縦組み時、フォントによって、三点リーダーなどいくつかの文字が中心線に揃わない
縦組み	縦組み時、フォントによって、最初の文字が引用符の場合、テキストエリア上端からはみ出す場合がある
タブ	タブ使用時、テキストが1行に収まらない場合がある

Illustrator CS3（v 13）からIllustrator 2024（v 28）までのテキストエンジンの改善項目一覧

対応バージョン	改善内容
v 27.7以降	「オプティカル」カーニングの修正 9ページ参照
v 27.3以降	Type1フォントサポートの終了 13ページ参照
v 26.4以降	箇条書き機能追加 10ページ参照
v 22以降	バリアブルフォント、カラーフォントのサポート 16ページ参照
v 18以降	均等配置、両端揃え時の強制改行 16ページ参照
v 18以降	Unicode IVS（異体字セレクタ）対応 16ページ参照
v 15以降	パス上テキストの間隔「自動」追加 16ページ参照

Illustrator 2020 互換ドキュメントの取り扱い注意点

互換性の注意が必要な機能　　対応バージョン（黄緑がOK）

互換性の注意が必要な機能	2020 v 24	2021 v 25	2022 v 26.0	2022 v 26.1	2022 v 26.3	2022 v 26.4	2023 v 27.0	2023 v 27.3	2023 v 27.7	2024 v 28.0	2024 v 28.3	2024 v 28.5	2025 v 29.0	2025 v 29.1	2025 v 29.3	2026 v 30.0	2026 v 30.4	2026 v 30.7	2027 v 31.0
韓国語組版の改善																			
韓国語の単語内改行が設定可能になりました。以前のバージョンで開いた場合、韓国語組版結果が異なる可能性があります。																			
ブレンド｜イージング、アピアランス																			
Illustrator 2026 (v 30.7) 以前のバージョンで開くと、＜プラグインオブジェクト＞と認識され、削除あるいは分割・拡張以外の編集ができなくなります。＜プラグインオブジェクト＞は、旧バージョンのIllustratorでドキュメントを保存した場合でも、対応するバージョンのIllustratorでは編集可能（ラウンドトリップ可能）です。																			
日本語組版のプリセット																			
Illustrator 2026 (v 30.4) 以前のバージョンで開いた場合、「ツメ組み」「ベタ組み」のプリセット名は正しく認識できません。組版結果は概ね維持されますが、文字組みアキ量設定の機能追加項目を使用している場合には組版結果が異なる可能性があります。合わせてテキストエンジンの変更の影響もあります。テキストエンジンの変更については前項を参照してください。																			
ターンテーブル																			
Illustrator 2026 (v 30.3) から正式対応しています。Illustrator 2025 (v 29) –Illustrator 2026 (v 30.2) のバージョンで開くとターンテーブルオブジェクトは生成オブジェクトに分割されます。Illustrator 2025 (v 29) 以前のバージョンで開くと、ターンテーブルオブジェクトは分割されます。																			
グラデーション｜知覚的、ディザ																			
Illustrator 2025 (v 29) 以前のバージョンで開くと、知覚的はクラシックに変更され、ディザは分割されます。																			
百千鳥VF																			
Illustrator 2025 (v 29.2) 以前のバージョンで開いた場合、百千鳥VFフォントを正しく認識できず、代替フォント表示になります。																			
パス上オブジェクト																			
Illustrator 2024 (v 28.7) 以前のバージョンで開くと、パス上オブジェクトは分割され、レイヤーパネル上では＜グループ＞と表示されます。																			
画像トレース																			
Illustrator 2024 (v 28.7) 以前のバージョンで開いた場合、CS6以降のバージョンでは、レイヤーパネル上ではそのまま＜画像トレース＞と表示され、編集も可能です。追加された機能は編集できませんが、ラウンドトリップも可能です。2025 (v 29.0) で機能が改善されたため、プレビューや拡張した結果は、それ以前のバージョンの結果とは異なる可能性があります。																			
寸法オブジェクト																			
Illustrator 2024 (v 28.2) 以前のバージョンで開くと、寸法オブジェクトは分割されます。v 28.3、v 28.4、v 28.4.1では寸法オブジェクトは保持されますが、ライブ編集はできません。																			
シェイプ｜スター																			
Illustrator 2024 (v 28.2) 以前のバージョンで開くと、スターシェイプはレイヤーパネル上では＜パス＞と表示されます。以前のバージョンで編集しようとするとアピアランスは保持されますが、シェイプとしての属性は失われます。編集しない場合にはシェイプは保持され、ラウンドトリップが可能です。																			
生成オブジェクト																			
Illustrator 2023 (v 27) 以前のバージョンで開くと、ベクター生成グループは分割されます。アピアランスは再現されますが、編集が困難になる可能性があります。																			
モックアップ																			
Illustrator 2023 (v 27) 以前のバージョンで開くと、モックアップグループは分割されます。アピアランスは再現されますが、編集が困難になる可能性があります。																			
カーニング：オプティカル																			
Illustrator 2023 (v 27.7) 以前と以降とで、フォントによっては、カーニングの「オプティカル」プリセットを選択した際の組版結果が異なる場合があります。																			
Type1フォントのサポート																			
Illustrator 2023 (v 27.3) 以降のバージョンで開くと、PostScript Type1フォントが認識されず、代替フォント表示になります。																			
3Dとマテリアル効果｜ねじりとテーパー																			
Illustrator 2023 (v 27.0) 以前のバージョンでは、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。編集すると、対応しない機能がキャンセルされ、アピアランスが変更されてしまいます。																			
クロスと重なり																			
Illustrator 2022 (v 26) 以前のバージョンで開くと、クロスと重なりグループは分割されます。アピアランスは再現されますが、編集が困難になる可能性があります。																			
箇条書き																			
Illustrator 2022 (v 26.3) 以前のバージョンで開くと、箇条書きは分割されます。アピアランスは再現されますが、編集が困難になる可能性があります。																			
AVIF形式のリンク配置																			
リンクで配置された場合、Illustrator 2022 (v 26.2) 以前のバージョンでは、互換形式に関わらず「リンクファイルの読み込みに必要なプラグインが見つかりません」という旨の警告が表示され、正しく再現されません。																			
3Dとマテリアル効果｜遠近感																			
Illustrator 2022 (v 26.2) 以前のバージョンでは、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。編集すると、対応しない機能がキャンセルされ、アピアランスが変更されてしまいます。																			

Illustrator 2020 互換ドキュメントの取り扱い注意点

互換性の注意が必要な機能　　対応バージョン（黄緑がOK）

	2020 v 24	2021 v 25	2022 v 26.0	2022 v 26.1	2022 v 26.3	2022 v 26.4	2023 v 27.0	2023 v 27.3	2023 v 27.7	2024 v 28.0	2024 v 28.3	2024 v 28.5	2025 v 29.0	2025 v 29.1	2025 v 29.3	2026 v 30.0	2026 v 30.4	2026 v 30.7	2027 v 31.0
3Dとマテリアル効果 | 膨張、ベベル（両側）																			

Illustrator 2022（v 26.0）以前のバージョンでは、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。編集すると、対応しない機能がキャンセルされ、アピアランスが変更されてしまいます。

3Dとマテリアル効果	2020 v 24	2021 v 25	2022 v 26.0	2022 v 26.1	2022 v 26.3	2022 v 26.4	2023 v 27.0	2023 v 27.3	2023 v 27.7	2024 v 28.0	2024 v 28.3	2024 v 28.5	2025 v 29.0	2025 v 29.1	2025 v 29.3	2026 v 30.0	2026 v 30.4	2026 v 30.7	2027 v 31.0

Illustrator 2021（v 25）以前のバージョンでは、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。

WebP・HEIF形式のリンク配置	2020 v 24	2021 v 25	2022 v 26.0	2022 v 26.1	2022 v 26.3	2022 v 26.4	2023 v 27.0	2023 v 27.3	2023 v 27.7	2024 v 28.0	2024 v 28.3	2024 v 28.5	2025 v 29.0	2025 v 29.1	2025 v 29.3	2026 v 30.0	2026 v 30.4	2026 v 30.7	2027 v 31.0

リンクで配置された場合、Illustrator 2021（v 25）以前のバージョンでは、互換形式に関わらず「リンクファイルの読み込みに必要なプラグインが見つかりません」という旨の警告が表示され、正しく再現されません。

リピートオブジェクト	2020 v 24	2021 v 25	2022 v 26.0	2022 v 26.1	2022 v 26.3	2022 v 26.4	2023 v 27.0	2023 v 27.3	2023 v 27.7	2024 v 28.0	2024 v 28.3	2024 v 28.5	2025 v 29.0	2025 v 29.1	2025 v 29.3	2026 v 30.0	2026 v 30.4	2026 v 30.7	2027 v 31.0

Illustrator 2020（v 24）でドキュメントを開くと、アートワークは分割されます。

Illustrator 2020 互換ドキュメントに関わる新機能

生成オブジェクト

Illustrator 2024（v 28）以降、テキストからベクター生成が利用できるようになりました。

Illustrator 2023（v 27）以前のバージョンでは、アピアランスは保持されますが、編集はできません。

モックアップ

Illustrator 2024（v 28）以降、モックアップ機能が利用できるようになりました。

Illustrator 2023（v 27）以前のバージョンでは、アピアランスは保持されますが、編集はできません。

クロスと重なり

Illustrator 2023（v 27）以降、クロスと重なりコマンドが利用できるようになりました。

Illustrator 2022（v 26）以前のバージョンでは、アピアランスは保持されますが、編集はできません。
以前のバージョンの互換形式で保存した場合、クロスと重なりが適用されているアートワークは分割されます。

箇条書き

Illustrator 2022（v 26.4）以降、書式で箇条書き機能が利用できるようになりました。

Illustrator 2022（v 26.3）以前のバージョンでドキュメントを開くと、テキストは分割されますのでご注意ください。アピアランスは保持されますが、編集は困難になります。
箇条書き機能を利用した場合、必ずIllustrator 2022（v 26.4）以降のバージョンでドキュメントを開いてください。

3Dとマテリアル効果 | 遠近感

Illustrator 2022（v 26.3）以降、3Dとマテリアル効果で遠近感のプロパティが利用できるようになりました。

Illustrator 2022（v 26.2）以前のバージョンでは、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。
編集すると、対応しない機能がキャンセルされ、アピアランスが変更されます。オブジェクトを分割せずに保存した場合、Illustrator 2022（v 26.3）以降のバージョンでは、編集を継続できます。

3Dとマテリアル効果 | 遠近感

Illustrator 2022（v 26.3）以降、3Dとマテリアル効果で遠近感のプロパティが利用できるようになりました。

Illustrator 2022（v 26.2）以前のバージョンでは、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。
編集すると、対応しない機能がキャンセルされ、アピアランスが変更されます。オブジェクトを分割せずに保存した場合、Illustrator 2022（v 26.3）以降のバージョンでは、編集を継続できます。

3Dとマテリアル効果 | 膨張、ベベルの両側設定追加

Illustrator 2022（v 26.1）以降、3Dとマテリアル効果の膨張、ベベルで両側のプロパティが利用できるようになりました。

Illustrator 2022（v 26.0）以前のバージョンでは、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。
編集すると、対応しない機能がキャンセルされ、アピアランスが変更されます。オブジェクトを分割せずに保存した場合、Illustrator 2022（v 26.1）以降のバージョンでは、編集を継続できます。

3Dとマテリアル効果

Illustrator 2022（v 26）以降、3D効果が刷新され、Substanceマテリアルが利用できるようになりました。

Illustrator 2021（v 25）/2020（v 24）では、アピアランスやデータ構造は保持されますが、編集はできません。
以前のバージョンの互換形式で保存した場合、3D効果が適用されているアートワークは分割されます。
従来の3D効果は「3D（クラシック）」として保持されており、互換性の影響はありません。

Illustrator 2020 互換ドキュメントに関わる新機能

リピートオブジェクト：リピートグリッド、リピートラジアル、リピートミラー

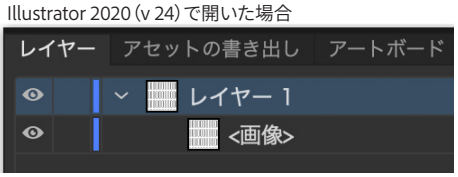
Illustrator 2021（v 25.1）以降、リピートグリッド、リピートラジアル、リピートミラーの3種類のリピートオブジェクトの作成・編集が可能です。

以前のバージョンの互換形式で保存した場合、リピートオブジェクトが適用されているアートワークは分割されます。
Illustrator 2020（v 24）は、リピートオブジェクトに未対応です。
リピートオブジェクトを利用したクラウドドキュメントをIllustrator 2020（v 24）で開いた場合、正しく表示されない場合があります。また、Illustrator 2020互換形式ドキュメントにリピートオブジェクトが存在する場合、Illustrator 2020（v 24）でドキュメントを開くと、アートワークは分割されますのでご注意ください。

Illustrator 2022（v 26）で開いた場合



Illustrator 2020（v 24）で開いた場合



テキストの垂直方向揃え

テキストフレーム内でテキストの垂直方向の配置を上揃え、下揃え、中央揃え、または均等配置で整列することができます。

エリア内文字オプションでテキストフレームの「外枠からの間隔」の値を追加すると、最初と最後のベースラインの位置が変更されます。
以前のバージョンの互換形式で保存した場合、テキストは分割されます。

大きなカンバスサイズ

Illustrator 2020 互換バージョンでは、大きなカンバスサイズが利用できます。

大きなカンバスでは、サイズの大きい複数のアートボードを作成できます。カンバスの領域は2,270 x 2,270インチまで広げることができ、デフォルトのカンバスよりも100倍大きい作業スペースを利用できます。
バージョン24より以前のIllustratorで、大きなカンバス上に作成したアートワークを保存または書き出すと、デフォルトのカンバスサイズに収まるように、アートボードやアートワークが10倍小さく変換されます。また、一部の編集機能が無効になり、テキストレイアウトが変更される場合があります。

字高の表示

フォントの高さオプションでフォントサイズの基準を変更できます。

「仮想ボディ」「キャップハイト」「xハイト」「平均字面」から選択可能です。
以前のバージョンの互換形式で保存すると、サイズ表示は「仮想ボディ」の高さの値で表示されます。テキストオブジェクトの大きさそのものは変更されません。

AVIF形式画像の配置

Illustrator 2022（v 26.3）以降、AVIF形式画像を配置できるようになりました。

画像が埋め込まれた場合、ほとんどの場合で互換性の影響はありません。
リンクで配置された場合、Illustrator 2022（v 26.2）以前のバージョンでは、互換形式に関わらず「リンクファイルの読み込みに必要なプラグインが見つかりません」という旨の警告が表示され、正しく再現されません。

HEIF・WebP形式画像の配置

Illustrator 2022（v 26）以降、HEIFおよびWebP形式画像を配置できるようになりました。

画像が埋め込まれた場合、ほとんどの場合で互換性の影響はありません。
リンクで配置された場合、Illustrator 2021（v 25）以前のバージョンでは、互換形式に関わらず「リンクファイルの読み込みに必要なプラグインが見つかりません」という旨の警告が表示され、正しく再現されません。

Illustrator CC（レガシー）互換ドキュメントの取り扱い注意点

互換性に関する注意点

Illustrator 2019（v 23）で作成されたドキュメントは、必ずIllustrator 2019以降で編集してください。 Illustrator CC 2018（v 22）以前のバージョンで開いた場合、一部機能の互換性が保証されません。

互換性の注意が必要な機能 / 対応バージョン（黄緑がOK）

フリーグラデーション

CC v 17 | CC 2014 v 18 | CC 2015 v 19 | CC 2015.3 v 20 | CC 2017 v 21 | CC 2018 v 22 | **2019 v 23**

CC 2018（v 22）以前のバージョンで開くと、フリーグラデーションは分割されます。アピアランスは再現されますが、編集ができなくなります。

バリアブルフォント / カラーフォント

CC v 17 | CC 2014 v 18 | CC 2015 v 19 | CC 2015.3 v 20 | CC 2017 v 21 | **CC 2018 v 22** | **2019 v 23**

CC 2017（v 21）以前のバージョンで開くと、バリアブルフォントは環境にないフォントと認識され、正しく表示されません。カラーフォントも文字化けし、正しく表示されません。

ダイナミックシンボル

CC v 17 | CC 2014 v 18 | **CC 2015 v 19** | **CC 2015.3 v 20** | **CC 2017 v 21** | **CC 2018 v 22** | **2019 v 23**

CC 2014（v 18）で開くと、アピアランスが正しく再現されない可能性があります。CC 2015（v 19）で開くと、ダイナミックシンボルとしての編集はできませんが、アピアランスは正しく再現されます。CC（v 17）では分割されます。

IVS：Unicodeの漢字異体字指定

CC v 17 | **CC 2014 v 18** | **CC 2015 v 19** | **CC 2015.3 v 20** | **CC 2017 v 21** | **CC 2018 v 22** | **2019 v 23**

CC（v 17）以前のバージョンで開くと、異体字指定が解除されて代表字形に置きかわり、文字化けします。

均等配置 / 両端揃え時の強制改行

CC v 17 | **CC 2014 v 18** | **CC 2015 v 19** | **CC 2015.3 v 20** | **CC 2017 v 21** | **CC 2018 v 22** | **2019 v 23**

CC（v 17）以前のバージョンで開き、編集すると、強制改行を行なっている行の組版結果が異なる場合があります。

組版機能に関する既知の問題

CC 2018 v 22.0

該当バージョンには、組版機能に不具合があります。必ずアップデートを適用するか、新しいバージョンをご利用ください。詳細は下記技術文書をご参照ください。

日本語 テキストのレイアウトに関する問題のトラブルシューティング
https://helpx.adobe.com/jp/illustrator/kb/troubleshoot-text-layout-issues.html

解決済みの問題
https://helpx.adobe.com/jp/illustrator/kb/fixed-issues.html

PostScript Type1フォントのサポート終了

PostScript Type1フォントのサポート終了

Illustrator v27.3以降、PostScript Type1フォントはサポートが終了し、認識されなくなりました。既存のドキュメントに使用されている場合、「環境にないフォント」扱いになり、正しく再現できなくなります。
PostScript Type1フォントが使用されているドキュメントがある場合には、あらかじめOpenTypeなどサポートされるフォント形式に置き換えるなどの対処をおすすめします。
PDF形式などにフォントが埋め込まれている場合には、引き続きそのまま再現することができます。Acrobatで開いたり、InDesignやIllustratorに配置画像として使用する場合は、特に変更がありません。
なお、フォントによっては、フォント形式の変更に伴い仕様が変更されているものもあります。詳しくは開発元のフォントメーカーにお問い合わせください。

ドキュメントを開く前に、ドキュメントに使用されているフォントの一覧を確認したい場合、少なくともCS2以降で作成されたものであれば、ドキュメントのメタデータを参照することで使用フォントの一覧を確認できます。Adobe Bridgeのメタデータパネルでは、フォント形式の確認まではできませんが、メタデータそのものにはフォント形式の記載がされています。
詳細を確認したい場合、Adobe Bridgeのファイルメニュー＞ファイル情報＞Rawデータで<xmpTPg:Fonts>タグ以下を参照してください。
<stFnt:fontType>Type 1</stFnt:fontType>というタグが記述されたものがあれば、PostScript Type1フォントが使用されています。

詳しくは下記をご参照ください。

PostScript Type 1 フォントのサポート終了
https://helpx.adobe.com/jp/fonts/kb/postscript-type-1-fonts-end-of-support.html

※【改訂】以前の記述では、CIDフォントを含むとしていましたが、CIDフォントは当面認識可能です。

そのほかの注意点

Pantoneカラーブックのライセンス変更

Pantoneのライセンスモデル変更に伴い、以前のバージョンのIllustratorに付属していたPantoneカラーブックは提供されなくなりました。
Pantoneカラーをご使用のお客様は、PantoneライセンスをAdobe ExchangeのPantone Connectプラグイン経由で入手してください。
詳しくは、下記をご参照ください。

Pantoneカラーブック
https://helpx.adobe.com/jp/illustrator/kb/pantone-color-books-illustrator.html

クラウドドキュメント

クラウドドキュメントとして保存

コンピュータにローカル保存する従来の方式に加えて、クラウドドキュメントとして保存ができます。

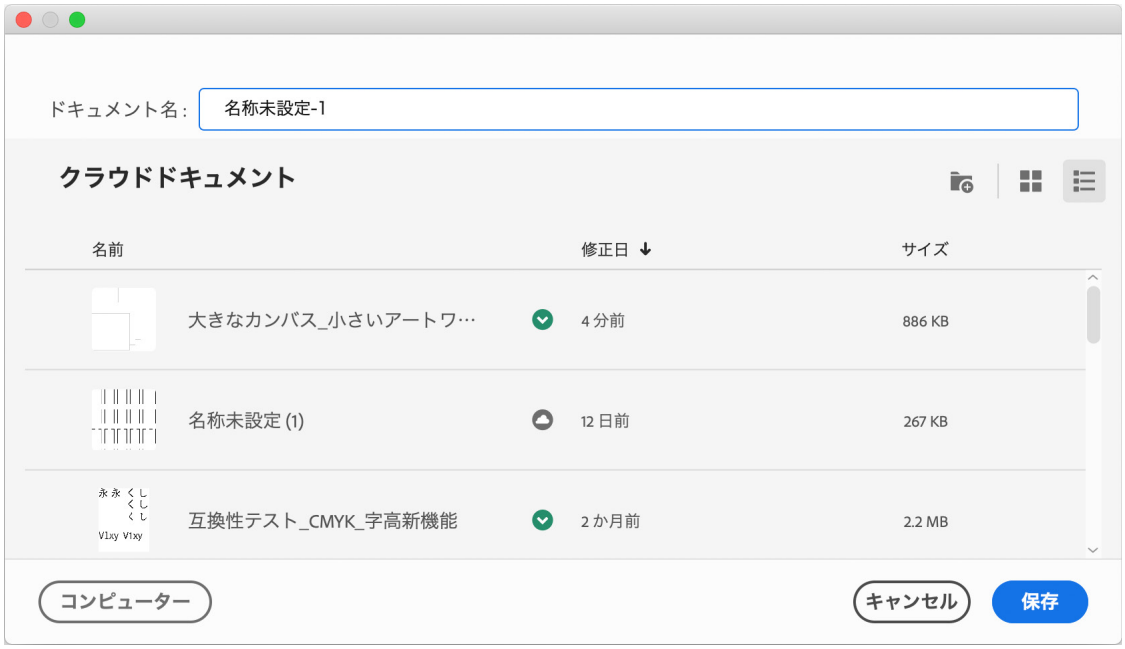
クリエイティブ作品をクラウドドキュメントとして保存し、Illustratorがインストールされているあらゆるデバイスでアクセスできます。クラウドドキュメントでは、作業中にドキュメントがクラウドに自動保存され、ドキュメントのバージョン（保存履歴）が追跡されるため、必要に応じて、Illustratorのバージョン履歴パネルを使用して元に戻す（ロールバックする）ことができます。

できること

・複数のデバイスなどからドキュメントにアクセスできます。
・クラウドに自動的に保存されます。
・クラウドドキュメントは、ローカルドキュメントよりも高速に保存できます。
・共同作業が可能です。
・バージョン（保存履歴）の管理ができます。

できないこと

・保存オプションを設定できません。互換バージョンの概念はありません。
・保存先を指定できません。
・ローカルドキュメントとして保存できません。AI形式への変更が必要です。
・ローカルファイルをリンク配置することはできません。



AIC形式

クラウドドキュメントはAIC形式で保存されます。Illustrator iPad版、Illustrator web版は、クラウドドキュメント（AIC形式）がネイティブ形式になります。

AIC形式は、クラウドサービスに最適化されています。対応する機能がIllustrator iPad版で一部異なることから、編集には部分的に注意が必要です。最新版での表示についてはほとんどの場合正しく再現しますが、未実装の機能は表示のオン・オフのみが可能で、編集ができない場合があります。
今後、クラウドドキュメントを扱う場合、常に最新版のIllustratorでの利用が前提になることが予想されます。

Illustratorの互換性挙動

互換性ポリシー

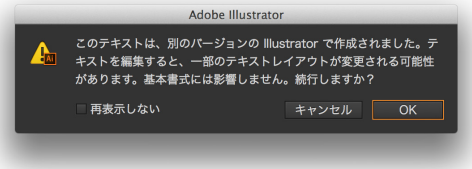
保存時に最適化：保存オプションのバージョンで設定します。
以前のバージョンで
●サポートされている機能　→　編集可能
●サポートされない機能（新機能）　→　外観保持、編集不可

組版上の互換性注意点（CS: v 11 ～ 2024: v 28 まで）

CS3（v 13）以降、組版に関しては非常に高い互換性が保たれています。
変更されている仕様＝下記3点のみ注意が必要です。

●CC 2014（v 18）以降：均等配置 / 両端揃え時の強制改行（Shift ＋リターンキー）
※CC以前のバージョンでは、均等配置 / 両端揃えになりません。

CC以前→CC 2014以降で開いた場合
CC 2014以降→CC以前で開いた場合

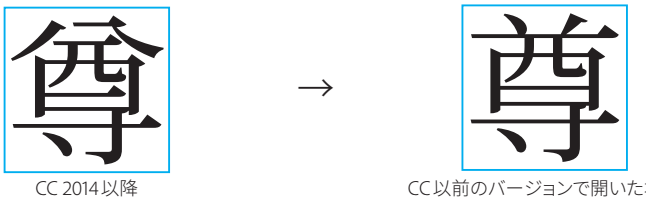


●CC 2014（v 18）以降：異体字セレクタ（IVS）に対応

●CS5（v 15）以降：パス上テキストの間隔「自動」設定の追加
※間隔＝「0」（自動以外）にすれば下位の互換性も保持されます。

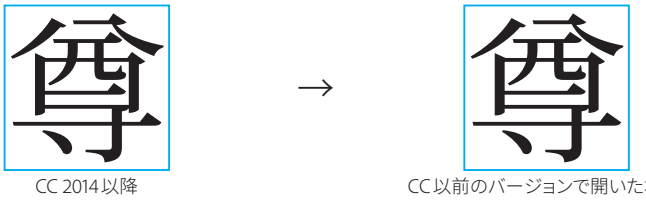
異体字セレクタと字形パネル

●異体字セレクタ（IVS）の場合、以前のバージョンでは代表字で表示されます。



CC 2014以降　　CC以前のバージョンで開いた場合

●字形パネル（CID）で切り替えた場合、互換性に影響はありません。



CC 2014以降　　CC以前のバージョンで開いた場合

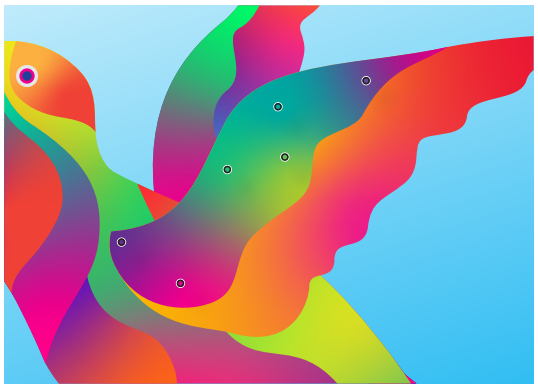
新しいフォント形式のサポート：可変（バリアブル）フォント、カラーフォント

Illustrator CC 2018（v 22）よりサポートされます。
CC 2017（v 21）以前では不明なフォント（環境に無いフォント）として扱われます。

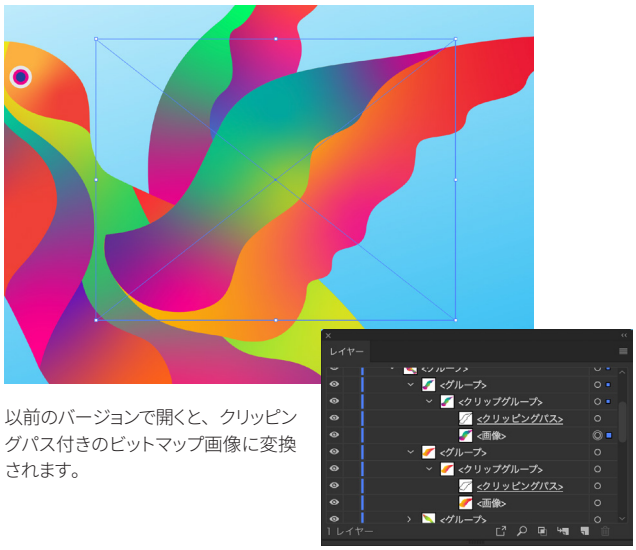
Illustratorの互換性挙動

フリーグラデーション

フリーグラデーションを適用したアートワークは、必ずIllustrator最新版で編集してください。CC 2018（v 22）以前のバージョンで開くと、フリーグラデーションは分割されます。アピアランスは再現されますが、編集ができなくなりますのでご留意ください。



Illustrator CC最新版では、パスやシェイプに適用されたフリーグラデーションを編集できます。



以前のバージョンで開くと、クリッピングパス付きのビットマップ画像に変換されます。

ダイナミックシンボル

一部互換性の問題が生じます。Illustrator CC 2015（v 19）以降で処理するか、CS6互換形式で保存するなどの対処が必要になります。

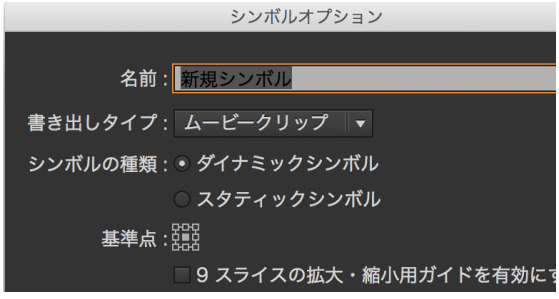
Illustrator CC **2015.2**以降で作成したアートワークの再現性

Illustrator CC **2015.1** ▶ 問題なし

Illustrator CC **2014** ▶ ~~アピアランス変更~~

Illustrator CC **17** ▶ 分　割

Illustrator CS6以前 ▶ 分　割



シェイプ（長方形、楕円、多角形、スター、線）

互換性の懸念はありません。以前のバージョンでは、通常のパスとして処理されます。シェイプとしての特性が保持されている場合、最新版で再編集が可能です。

パペットワープ

互換性の懸念はありません。以前のバージョンでは、通常のグループとして処理されます。パペットワープグループが保持されている場合、最新版で再編集が可能です。

レガシー情報：Illustrator 10 以前のバージョンとのテキスト互換性

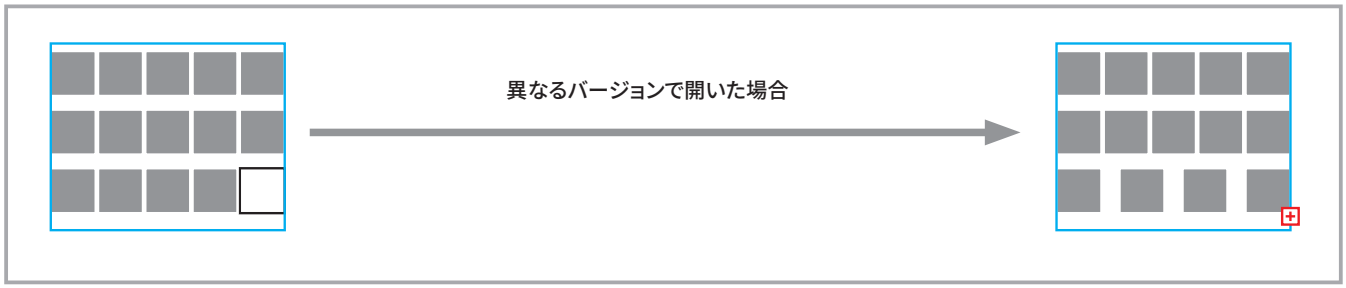
バージョン間の主な日本語組版処理の相違一覧表

主な日本語組版処理の相違			Illustrator CS以降	CS以降でテキストを更新した場合	調整の方法	Illustrator 10/9/8	Illustrator 7	Illustrator 5.5
行送り基準	文字パネルメニュー	行送り基準	日本語基準の行送り	欧文基準の行送り		欧文基準の行送り（固定）	欧文基準の行送り（固定）	欧文基準の行送り（固定）
自動行送り	ジャスティフィケーション設定ダイアログ	自動行送り	175%	120% *	換算誤差の修正をして調整	120%	120%	120%
		自動行送りの編集	○	○		×	×	×
		単語の間隔：最小	80%	100%		100%	100%	100%
		単語の間隔：最適	100%	100%		100%	100%	100%
		単語の間隔：最大	133%	200%		200%	200%	200%
		文字の間隔：最小	0%	0%		0%	0%	0%
		文字の間隔：最適	0%	0%		0%	0%	0%
		文字の間隔：最大	0%	5%		5%	5%	5%
		グリフ幅拡大/縮小：最小	100%	100%		—	—	—
		グリフ幅拡大/縮小：最適	100%	100%		—	—	—
		グリフ幅拡大/縮小：最大	100%	100%		—	—	—
カーニング	文字パネル	カーニング値	0	値を保持	CS2/CSはカーニング値を調整	自動	自動	0
		行頭でのカーニング	○	○		×	×	○
トラッキング	文字パネル	トラッキング値	0	値を保持		0	0	0
文字詰め	文字パネル OpenTypeパネル	OpenTypeの詰め	○	○		×	×	×
		CIDフォントの詰め	×	×		○	○	○
		文字ツメ	0%	0%		—	—	—
文字組み	段落パネル	文字組みセット	行末約物半角	なし		オフ	オフ	オフ
		文字組みセットの編集	○	○		×	×	×
縦組み中の欧文回転	文字パネルメニュー	縦組み中の欧文回転	オフ	自動的に処理		オフ	オフ	オフ
		縦中横	オフ	自動的に処理		オフ	オフ	オフ
文字揃え	文字パネルメニュー	文字揃え	中央	ベースライン		ベースライン	ベースライン	ベースライン
		文字揃えの編集	○	○		×	×	×
割注	割注設定ダイアログ	行数	2	2		—	—	—
		割注サイズ	50%	50%		50%	50%	—
		行の間隔	0	0		—	—	—
		行揃え	自動	自動		—	—	—
		改行オプション：1行目の最小文字数	2	2		—	—	—
		改行オプション：最終行の最小文字数	2	2		—	—	—
ハイフネーション	段落パネル	ハイフネーション	オフ	自動的に処理		オフ	オフ	オフ
ぶら下がり	段落パネルメニュー	オンにした時の設定	選択可能	強制	標準／強制の確認	標準	強制	標準
禁則処理	段落パネル	初期設定	強い禁則	自動的に処理		なし	なし	弱い禁則
		強い禁則	○	○	禁則処理設定の編集で調整	○**	○**	×
		弱い禁則	○	○		○	×	○
		禁則処理設定の編集	○	○		×	×	×
	段落パネルメニュー	初期設定	追い込み優先	追い込み優先***	禁則オプションのチェックを確認	追い込み優先	追い込み優先	追い込み優先（固定）
		分離禁止文字処理	オン	オン		オン	オン	オフ
エリア内文字	エリア内文字オプションダイアログ	オフセット：1列目のベースライン	仮想ボディの高さ	仮想ボディの高さ	調整****	レガシー（固定）	レガシー（固定）	レガシー（固定）
		オフセットの編集	○	○		×	×	×

* 換算誤差によって値が異なる場合があります。
** 対象文字に＃〒§℃°F@%‰$¢£¥ は含まれません。
*** 書類の設定に関わらず「追い込み優先」になります。
****10.0 以前のバージョンのIllustratorでは、1行目のベースラインは行送り値によって決定されていますが、Illustrator CS 以降は文字サイズによって決定されるため、ずれてしまう場合があります。この場合、テキストエリアの座標値を調整してください。

レガシー情報：Illustrator 10 以前で作成したドキュメントを開く際

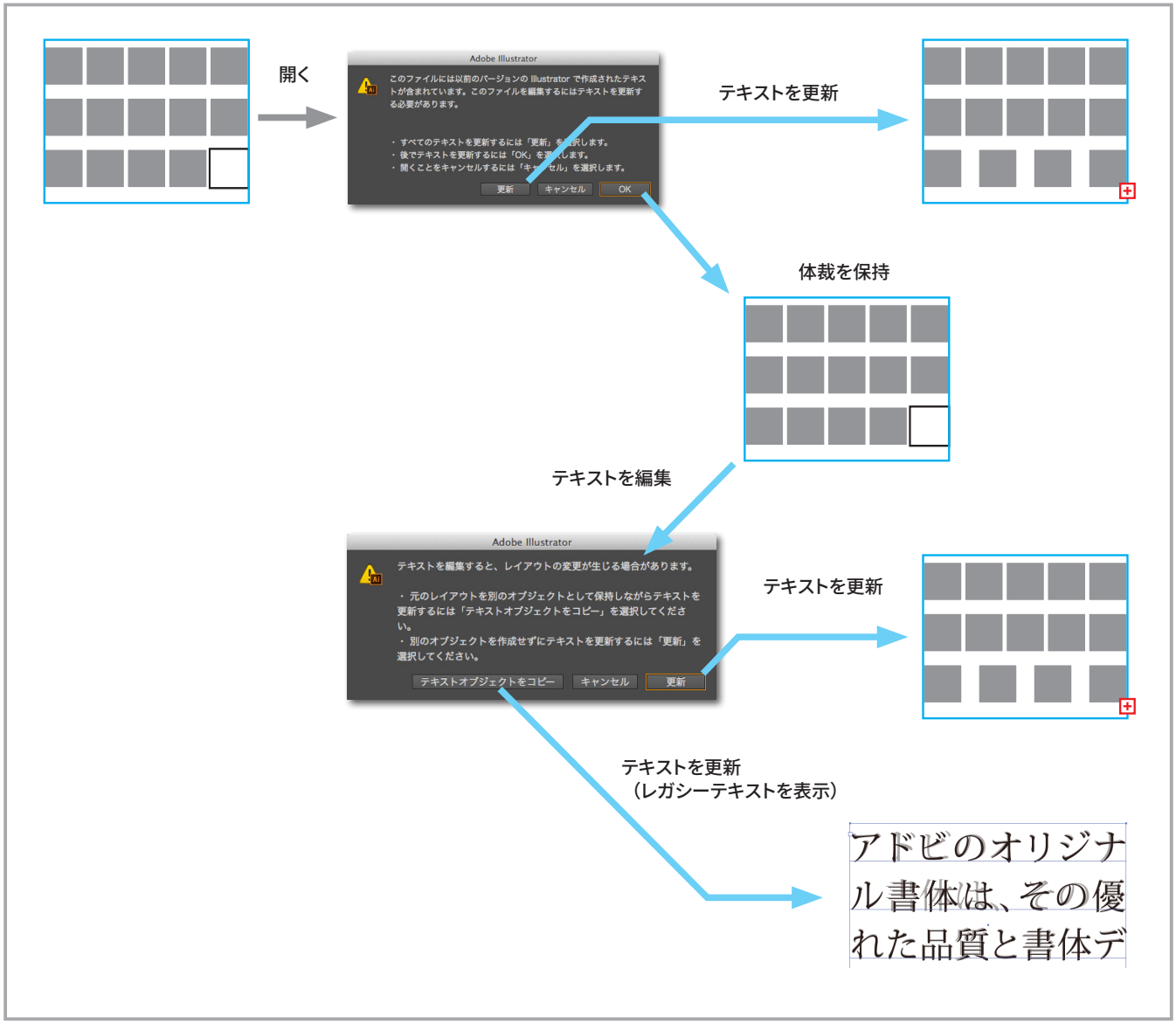
Illustrator 10 以前のテキスト互換性の問題点



●組版体裁が自動的に更新されてしまう

●どこが変更されたのかが把握しづらい

Illustrator CC でテキストを含む以前のバージョンのファイルを開いた場合



●開く際／テキストを編集する際にダイアログで確認

●レガシーテキストを表示することで新旧の比較が容易

レガシー情報：パネル設定の相違

Adobe Illustrator 10/9/8

文字設定パレット



段落設定パレット

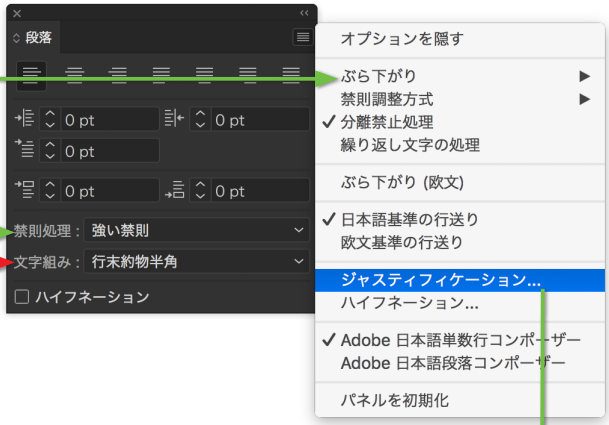


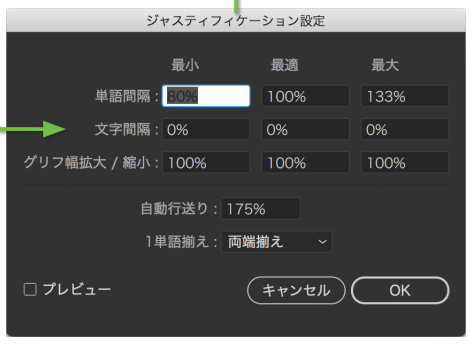
Adobe Illustrator CC

文字パネル



段落パネル





OpenType パネル



レガシー情報：タイポグラフィ機能 | 詰め／アキ処理

詰めと文字アキ

OpenTypeパネルの「プロポーショナルメトリクス」をチェックすることで、OpenTypeフォントの詰め情報（プロポーショナルメトリクス）が利用できます。文字パネルでカーニングを「メトリクス（自動）」にした場合には、プロポーショナルメトリクスに加えて、主に欧文フォントなどに搭載されているペアカーニングが適用されます。文字パネルのカーニングを「メトリクス（自動）」にすることでもOpenTypeフォントの詰めは行えますが、手動カーニングを適用した場合、挿入ポイントの両側の文字詰めが解除されます。

Illustrator CS以降では、OCFフォントやCIDフォントの詰め情報は利用できません。

「文字ツメ」機能を利用すると、文字間のアキ量（サイドベアリング）を調整して文字を詰めることができます。カーニングなどと併用できますので、おすすめです。

Illustrator CCで実現できる詰め組み例

べた組み

高度なタイポグラフィを実現する

❶プロポーショナルメトリクス（OpenTypeフォントのみ）

高度なタイポグラフィを実現する

❷文字ツメ（30%）

高度なタイポグラフィを実現する

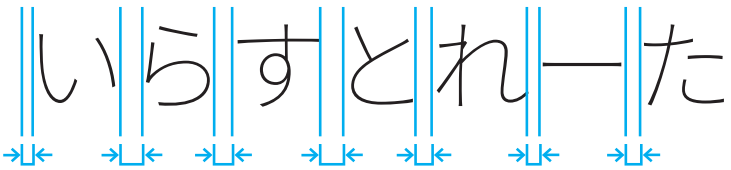
❷文字ツメ（70%）

高度なタイポグラフィを実現する

❸「オプティカル」カーニング

高度なタイポグラフィを実現する

文字ツメの仕組み



文字間のアキ量（サイドベアリング）を調整

オプティカルカーニングとメトリクスカーニング

「オプティカル」カーニングでは、隣り合った文字間のアキを文字の形に基づいて調整することができます。詰め情報がフォントに含まれていない場合や1行内に異なるフォントやフォントサイズを使用している場合には、「オプティカル」カーニングを使用してカーニングを調整します。「オプティカル」カーニングは、Illustratorの機能であり、フォントの持っている機能ではありません。「オプティカル」カーニングは主に欧文フォントを使用している場合に動作します。日本語フォントでは正しく動作しない可能性があります。

「メトリクス（自動）」カーニングでは、フォントが持っているプロポーショナルメトリクスとペアカーニングが適用されます。フォントにプロポーショナルメトリクスやペアカーニングがない場合には変化しません。

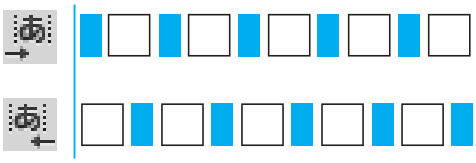
※プロポーショナルメトリクスはOpenTypeフォントに搭載される詰め情報です。ペアカーニングは主に欧文フォントや一部の和文フォントに搭載されています。アドビの和文フォント（小塚明朝、小塚ゴシック）の仮名にはペアカーニングが用意されています。

❹文字後のアキ量：四分アキ

高 度 な タ イ ポ グ ラ フ ィ を 実 現

四分アキ

アキ量を挿入の仕組み



文字の前または後にアキ量を追加

レガシー情報：タイポグラフィ機能 | 行送り／文字揃え

行送りと文字揃え

10.0 以前のバージョンの Illustrator と挙動を合わせたい場合、「欧文基準の行送り」と「欧文ベースライン」を選択すれば、同じ動きになります。

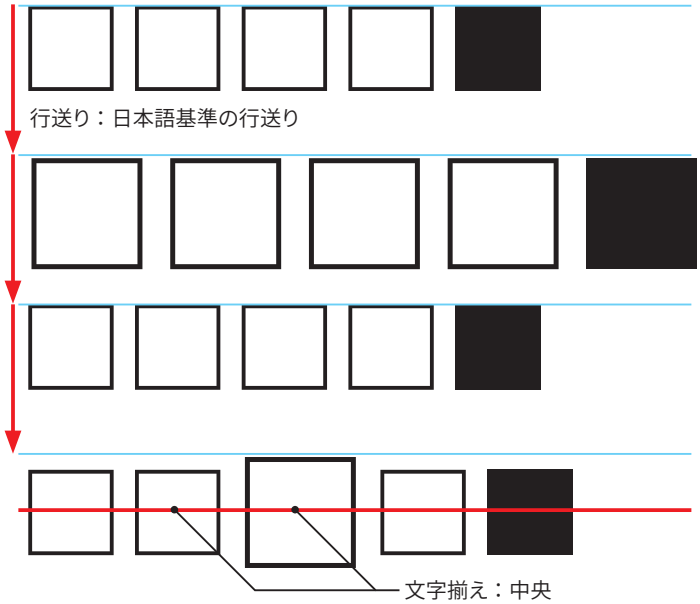
【行送りの基準について】

10.0 以前のバージョンの Illustrator では、常にベースラインが基準で行送りが設定されていました。
これに対して、Illustrator CS 以降のバージョンでは、行送りの基準を選択できるようになっており、初期設定では「日本語基準の行送り」が選択されています。この場合、仮想ボディの上端が基準で行が送られますので、フォントサイズを変更した場合、下記のような挙動となります。これは JIS の日本語行組版ルールに準拠した方法です。
10.0 以前のバージョンの Illustrator と同様の挙動にしたい場合には、段落パネルのサブメニューで「欧文基準の行送り」に切り替えてお使いください。ベースラインを基準にして行送りが設定されます。

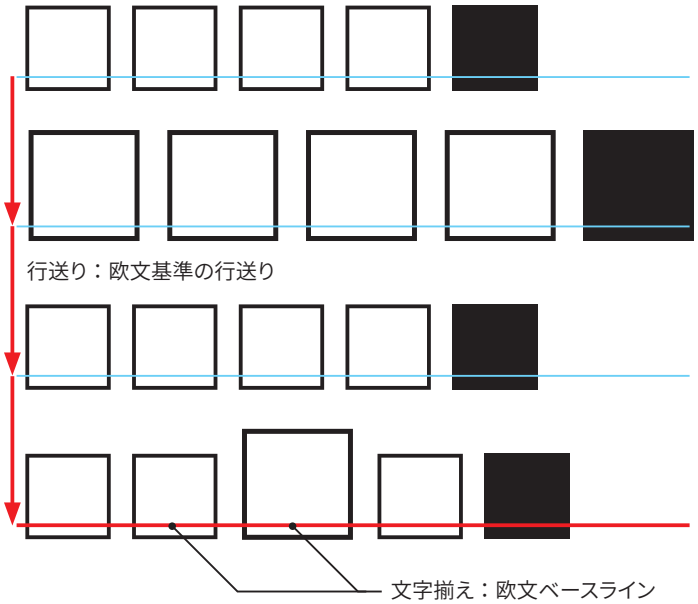
【行中の文字揃えの基準について】

Illustrator CS 以降、行中でフォントサイズが異なる場合に文字揃えの基準を調整することができるようになりました（Illustrator 10 まではベースラインに基準が固定されていました）。
10.0 以前のバージョンの Illustrator と同様の挙動にしたい場合、文字パネルのサブメニューに「文字揃え」という項目がありますので、「欧文ベースライン」を選択してください。

Illustrator CS 以降の初期設定
行送り：日本語基準の行送り
文字揃え：中央

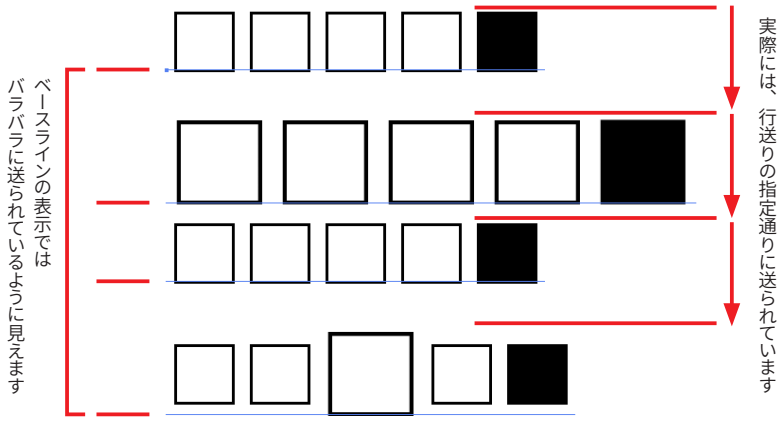


Illustrator 10 以前の初期設定
行送り：欧文基準の行送り
文字揃え：欧文ベースライン



【注意】

Illustrator のユーザーインタフェイスでは、テキストオブジェクトを選択した場合、常にそれぞれの文字のベースラインがガイドとして表示されます。
日本語基準の行送りや欧文ベースラインを基準にした文字揃えに設定している場合、実際の行送りの基準や文字揃えの基準とは表示が異なる場合がありますので、ご注意ください。



レガシー情報：タイポグラフィ機能に関するその他のFAQ

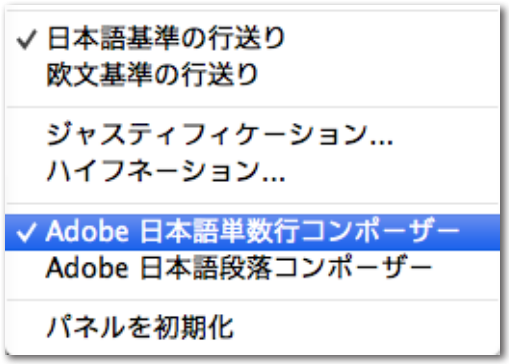
タブの設定

タブはタブパネルで設定をすることができます。
タブパネルを開くには、ウィンドウメニュー＞文字＞タブを選択します。
10.0以前のバージョンのIllustratorでは、左揃えの場合のみタブが有効でしたが、Illustrator CS以降では左揃え以外でもタブが有効になります。



文字組みについて

段落パネルの「文字組み」設定で行えます。
文字組みアキ量設定を編集することで、より細かい調整が可能になります。設定を保存したり、外部ファイルに書き出すことができますので、ハウスルールを素早く適用することが可能です。

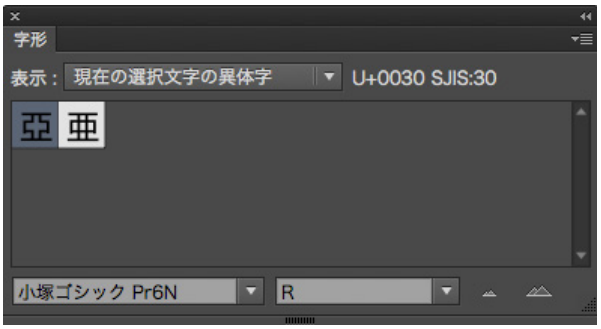


Adobe日本語単数行コンポーザーとAdobe日本語段落コンポーザー

コンポーザーとは組版方式のことです。Adobe日本語単数行コンポーザーは禁則処理や行揃えの設定を1度に1行のテキストに対して適用するもので、10.0以前のバージョンのIllustratorが使用していた方法に近い処理を行います。
Illustrator CS以降のAdobe日本語段落コンポーザー（以下、段落コンポーザー）は、より見た目が美しく均整がとれて読みやすいテキストを作ります。段落コンポーザーは、エリア内の全テキストを評価した上で、全体から見て最適と思われる改行位置の組み合わせを決めます。段落コンポーザーでは、調整のために手動で改行を入れることなく、精妙な文字組みを実現する機能を提供します。長文に最適です。
コンポーザーの切り換えは、段落設定パネルサブメニューから選択します。
グループで作業する場合には、校正作業の慣行上、単数行コンポーザーを適用して作業することをおすすめします。

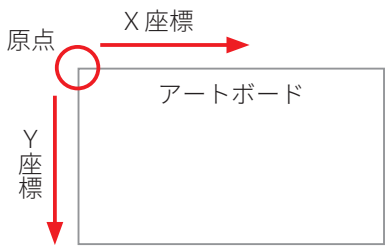
CIDフォントの字体切り換え

字形パネルを利用します。字形パネルの表示ポップアップメニューから「現在の選択文字の異体字」を選択すると利用できる異体字が表示されます。字形パネルは書式メニュー＞字形を選択するか、ウィンドウメニュー＞文字＞字形を選択して表示できます。



【座標系の変更】

Illustrator CS5以降、原点および座標系が変更されています。
新しい原点は、初期設定でアートボードの左上隅に設定され、第四象限座標系（Xは右方向に増分、Yは下方向に増分）が採用されています。



旧バージョンのIllustratorと同じ挙動にしたい場合、環境設定ファイルを書き換えることで変更することが可能です。
原点位置の変更（左下原点）、座標系の変更（正座標）をそれぞれ行うことができます。

変更方法

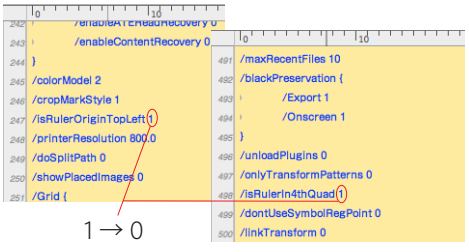
以下の操作を行います。
Illustrator を終了します。
以下の場所に保存されている環境設定ファイルを編集します。念のため、ファイルのバックアップをとって作業してください。

Windows 7の場合：**Adobe Illustrator 環境設定/AIPrefs**
C:¥Users¥<ユーザ名>¥AppData¥Roaming¥Adobe¥<Adobe Illustrator 19 Settings>¥ja_JP¥
<x64またはx86>¥Adobe Illustrator 環境設定
macOSの場合：**Adobe Illustrator 環境設定**
<Macintosh HD>/ユーザ/<ユーザ名>/ライブラリ/Preferences/<Adobe Illustrator 19 Settings>/ja_JP/Adobe Illustrator 環境設定
※macOS 10.7以降、ユーザライブラリフォルダは初期設定で非表示状態になっています。フォルダへ移動コマンドを利用してフォルダを表示してください。

環境設定ファイルをテキストエディターなどで開きます。
下記行の値をそれぞれ書き換えます。行末の「1」を「0」に書き換えて、ファイルを保存します。

/isRulerIn4thQuad **0**

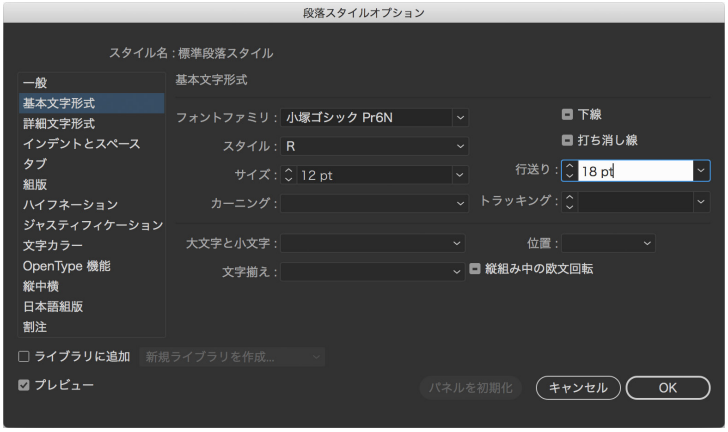
/isRulerOriginTopLeft **0**



レガシー情報：タイポグラフィ機能 | 段落スタイルほか

段落スタイルと文字スタイル

段落スタイルや文字スタイルを使うことによって、フォントやサイズなどの文字書式を他のテキストにも素早く簡単に設定できます。段落スタイルや文字スタイルを使用しテキストのデザインを統一することで高い品質を維持できます。また、複数の書式設定を1つのグループとして定義することができるため、作業時間を大幅に短縮できます。



段落スタイル／文字スタイルオプションで、書式設定を修正、更新することができます

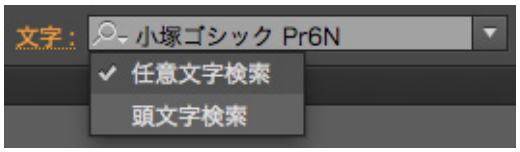
WYSIWYGのフォントメニュー

Illustrator最新版のフォントメニューには、インストールしたフォントが各フォントフェイスのデザインで表示されるので、視覚的に確認しながら使いたいフォントを選択できます。いろいろなフォントを試してみる操作もより高速で直接的になり、それぞれのフォントが使用するフォーマットも一目でわかります。必要に応じて、このオプションをオフにすることもできます。

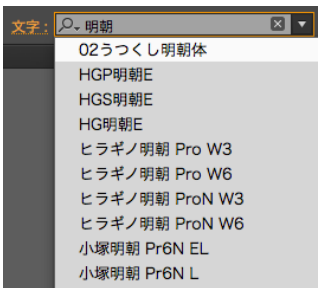
フォントの任意文字検索

Illustrator最新版では、より素早く目的のフォントを探すことができるようになりました。コントロールパネルまたは文字パネル上のフォント表示欄に探しているフォントの名称の一部を入力すると、入力内容に合わせてフォントが抽出されます。検索条件は、空白で区切って複数指定することもできます。

また、検索アイコンをクリックすると、検索方法を変更できます。「任意文字検索」が初期設定です。「頭文字検索」は、従来の検索方法と同様、入力したフォント名からはじまるフォントが選択されます。



あいまい検索ができるのが「任意文字検索」



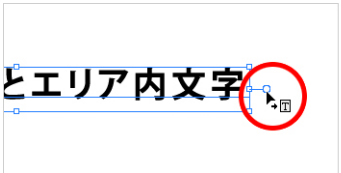
例)『明朝』で検索した結果
たくさんのフォントコレクションの中からも目的のフォントを見つけやすくなります



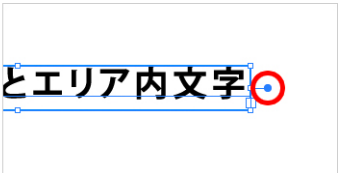
フォントプレビューをオンにするとフォント形式も区別され、アイコンで表示されます。

ポイントテキスト、エリア内テキストの切り替え

Illustrator最新版では、ポイントテキストまたはエリア内テキストを選択すると、バウンディングボックスの右側にハンドルが表示されます。このハンドルをダブルクリックすることで、ポイントテキストとエリア内テキストを変換することができます。これまで再度入力をしたり、コピー＆ペーストすることで変換していた手間を省くことができます。



ポイント文字の状態



ダブルクリックすることでエリア内文字に

エリア内文字の自動サイズ調整

エリア内文字フレームの自動サイズ調整機能を利用することができるようになりました。自動サイズ調整機能をオンにすると、テキスト量に応じてテキストフレームの行数が増減します。これによって、文字あふれ（テキストオーバーセット）を回避することができます。

自動サイズ調整機能はフレームごとに設定できます。

レガシー情報：タイポグラフィ機能 | 文字のデザイン

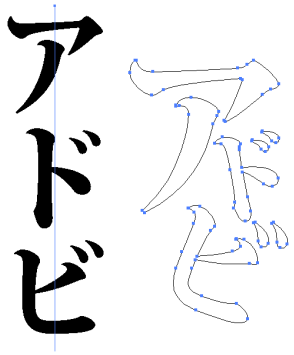
文字タッチツール

印象的な見出しやタイプロゴ的な使い方で文字による表現を行いたい場合、文字オブジェクトのままではコントロールがしにくいため、多くの場合テキストをアウトライン化してレイアウトしていました。

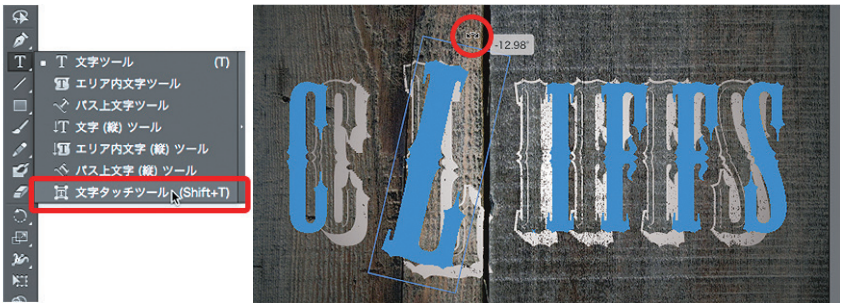
Illustrator CC以降に新たに追加された文字タッチツールは、入力済みの文字を文字属性を持たせたままで変形できるツールです。そのため、後から文字として変更も可能です。

文字の変形は、文字パネル上の設定と連携しています。

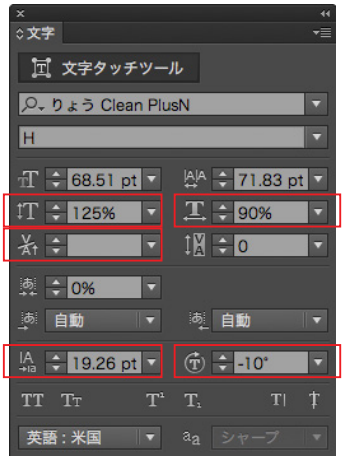
各設定をこのツールを使うことによりインタラクティブに変更ができるようになっているものであるため、下位保存を行ってもテキストの状態は保持されます。アピアランスを追加している場合、属性の値に合わせてオブジェクトが分割されますが、個々のオブジェクトは文字として編集することができます。



従来、文字を変形するには
アウトライン化していました



文字タッチツールを使用すると、文字オブジェクトの中の1文字を選択することができ、インラインの状態で自由に変形することができます
図は、アピアランスを追加している文字に対して変更を適用しています



変形に応じて、文字パネル上の垂直比率、水平比率、カーニング、ベースラインシフト、回転角度の設定値が変わります



CS以降の保存形式では
アピアランスは保持されます



CS以前の形に
下位保存すると分割処理されます

パス上文字オプション

パス上文字を使ったプロジェクトでも、わずかな手間で多彩な外観を作ることができます。

Illustrator CS5より、ユーザーがパス上の文字をデザインするオプションが拡張されました。文字メニューの新しいパス上文字サブメニューは5種類のプリセット整列オプションを提供し、パス上文字オプションダイアログボックスにはパスと相対的にテキストの位置を制御する追加オプションが含まれます。

Illustrator CS5以降、パス上文字のテキスト配置が最適化され、パスが折り返していたりカーブしている際にも見やすくなるよう改善されています。



従来のパステキスト
＝「虹」効果



「歪み」効果

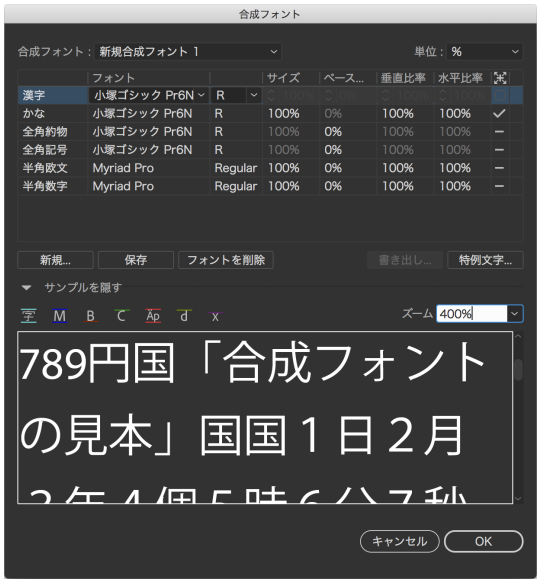


「階段状」効果

レガシー情報：タイポグラフィ機能 | 和欧混植、OpenType

合成フォント

合成フォントは、異なるフォントを要素として組み合わせて、1つのフォントとして扱える機能です。欧文フォントと日本語フォントの組み合わせや、かな専用書体を組み合わせてより柔軟なタイポグラフィを実現できます。かな文字のサイズを調整して小がな処理を設定したり、1文字ごとのカスタマイズも可能です。設定した合成フォントは外部ファイルに書き出せるので、グループ内での共有も可能です。



合成フォント設定ダイアログ

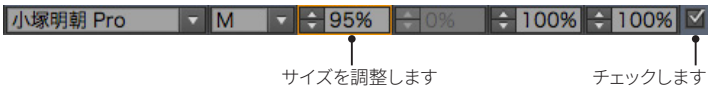
あどびのオリジナル日本語書体は美

合成フォント例：小塚ゴシックＢ＋りょうSB

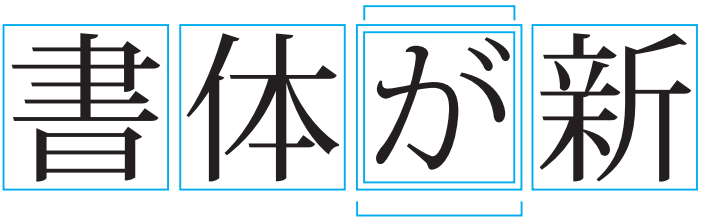
OpenTypeフォントのかな専用書体も増

合成フォント例：リュウミンB-KL＋秀英3号Ｍ＋Adobe Garamond Pro Regular

小がなの指定をする場合、文字クラスの「かな」項目で、文字の中央で拡大／縮小のチェックをオンにし、サイズで比率を指定します。垂直比率、水平比率は固定します。



95%に縮小した場合



字送りは100%＝指定サイズで字送り

OpenType

Illustrator CS以降では、OpenTypeフォントの持つ高度なタイポグラフィ機能をフルに活用することができます。OpenTypeフォントのタイポグラフィ機能は、専用のOpenTypeパネルから設定することができます。

また、字形パネルを利用してOpenTypeフォントに搭載されている豊富な字形への容易なアクセスが可能で、これまで処理が難しかった外字扱いの異体字や約物などの記号類を素早く活用することができます。OpenTypeフォントを利用することによって、MacintoshとWindows間の完全なデータ交換が可能になります。また、プリンタフォントがなくても出力ができ、PDFへの埋め込みにも対応していますので、データ入稿を容易にできます。



OpenTypeのタイポグラフィ機能はOpenTypeパネルから設定します

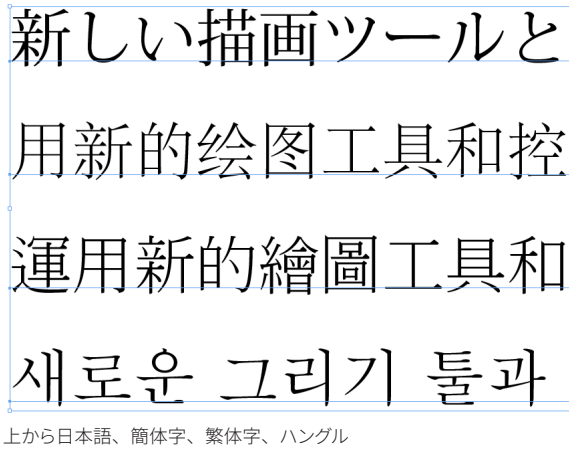


豊富な異体字や記号類を利用する場合は字形パネルを利用します

多言語対応

Unicode対応により、多国語が混在したドキュメントやタイポグラフィを作成することが容易になりました。

また、アラビア語やヘブライ語などの中東言語、ヒンディー語などのインド言語にも対応します。日本語版では、中東言語の組版機能を利用するためのUIが用意されません。アラビア語対応英語版等をご利用ください。



上から日本語、簡体字、繁体字、ハングル

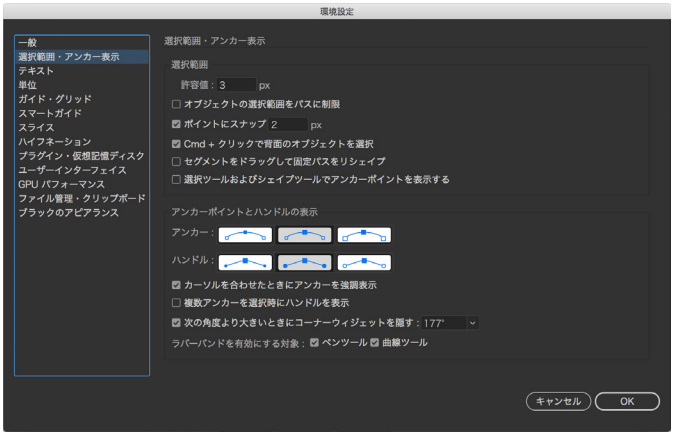
レガシー情報：基本描画の機能強化

ペンツール

これまでの操作に加えて、操作性の改善や追加制御ができます。

ラバーバンド表示

環境設定＞選択範囲・アンカー表示「ラバーバンドを有効にする対象」のチェックで、ペンツール、曲線ツールの表示を制御できます。



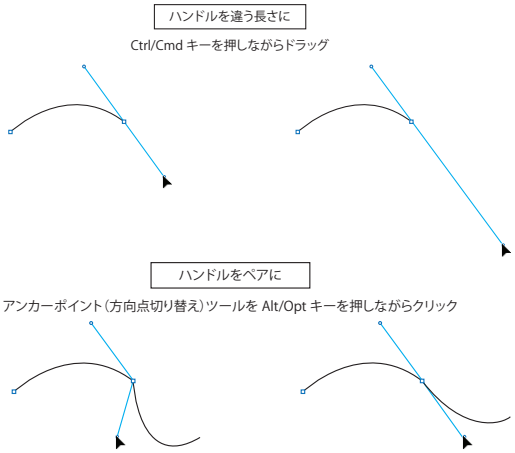
セグメントの変更

環境設定＞選択範囲・アンカー表示「セグメントをドラッグして固定パスをリシェイプ」のオン・オフで挙動を変更できます。オフにすると、以前のバージョンと同じ制御になります。

その他の改善点

ハンドルをドラッグする際、Ctrl/Cmdキーを押しながらドラッグすると、片方だけを伸縮できるようになります。

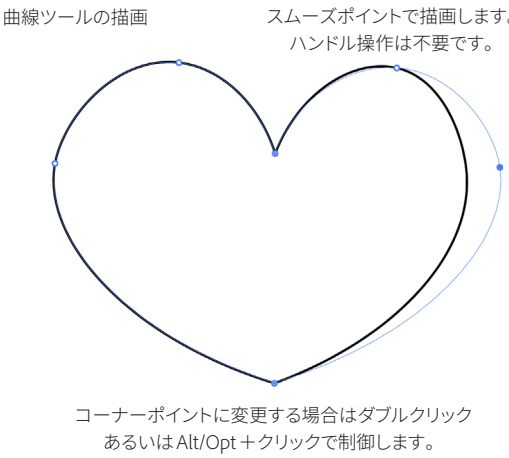
ブレークアンカーポイントのハンドルを操作する際、Alt/Optキーを押しながらドラッグすると、ハンドルがペアになります。





曲線ツール

曲線ツールでは、シングルクリックでポイントを追加すると曲線が動的に描画され、ダブルクリックでコーナーポイントを追加すると直線が描画されます。編集もこのツールで行うことができ、アンカーポイントやハンドル操作の手間がかかりません。





連結ツール

交差または重なり合うパスや、オープンパスを簡単に結合でき、それと同時に不要なセグメントもトリミングできます。元のパス軌跡には影響しません。

鉛筆ツール

パスの拡張、パスを閉じる、直線の描画オプションを使用して曲線をより正確に描画できます。プリセットを使うと、ポイントの少ないスムーズなパスや実際のストロークを正確に表現するパスを作成できます。この新しいテクノロジーは、ブラシ、塗りブラシ、スムーズツールにも適用されます。

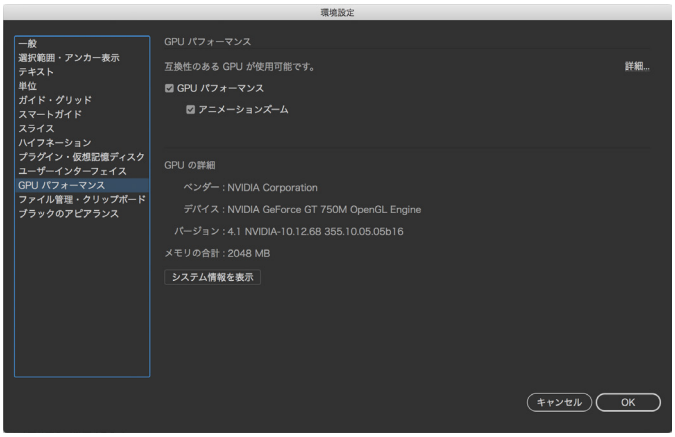
レガシー情報：パフォーマンスの改善

最新の Macintosh および Windows システムへの対応

macOS および Windows 10 コンピュータにおいて、Illustrator を最大限に活用できます。 特に 64 ビット版 OS にネイティブで対応しますので、メモリを搭載したマシンの性能を引き出すことができます。

GPU 最適化

Illustrator 最新版では、より高速な GPU を搭載するグラフィックカードを利用している場合、ハードウェア・アクセラレーションによって描画のパフォーマンスを向上させることができます。
必要に応じて、表示メニューから CPU プレビューに切り替えることができます。

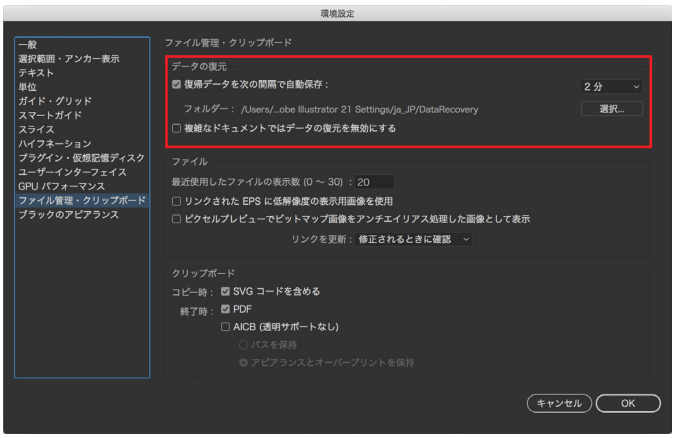


フォントプレビュー

フォントプレビューは便利な機能ですが、多数のフォントを搭載している場合、メニューの表示が遅くなる場合があります。環境設定のフォントプレビューをオフにすることによって、メニューの表示を素早く行うことが出来るようになります。
Illustrator CS6 からは 64 ビット版ネイティブ対応により、フォントプレビューのパフォーマンスが向上します。メニュー表示の遅延を意識せずにフォントプレビュー機能を利用できます。

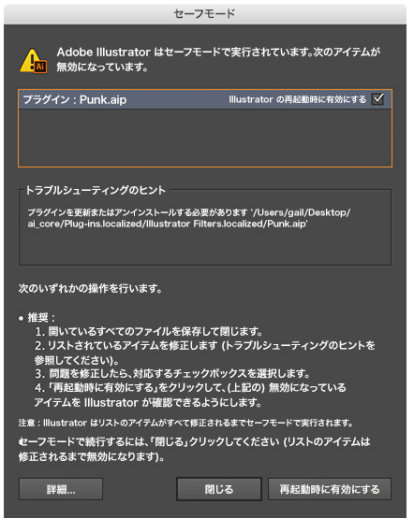
データの復元

2015 年リリース以降の Illustrator の場合、Illustrator がクラッシュし、保存し忘れていた場合でも、作業内容の復元が可能です。
Illustrator 最新版は、クラッシュ原因の特定、Illustrator への問題項目のロード防止、およびトラブルシューティングのための問題原因項目のリスト表示が可能です。また、データの復元頻度と復元データの保存場所を決定することもできます。
復元されたファイル名の後には、「[復元]」が挿入されます。ファイルメニュー／別名で保存を選択してファイルを保存します。「別名で保存」コマンドにより、復元されたファイルに含まれるデータが正しいことが確認されるまで、そのファイルを別のバージョンで保存できます。



セーフモード

ドライバーまたはプラグインの互換性や古さ、またはフォントの破損が原因でクラッシュが発生した場合は、Illustrator の再起動時に、原因を診断するオプションを選択できます。
再起動後に表示されたダイアログボックスで「診断を実行する」をクリックすると、診断テストが開始されます。この手順は、Illustrator で検出された、クラッシュの原因であるファイルごとに繰り返されます。
「診断を実行する」を選択すると、Illustrator がセーフモードで起動します。セーフモードダイアログボックスでは、問題の原因と考えられる項目（フォントの破損、プラグイン、古いドライバーなど）が一覧表示されます。
リストの項目をクリックします。その項目のトラブルシューティングのヒントを確認します。そのヒントに従って問題を修正します。問題の項目が訂正されたと思ったら、その項目の「Illustrator の再起動時に有効にする」チェックボックスを選択し、ダイアログボックスの下部にある「再起動時に有効にする」をクリックします。



注意：Illustrator は、リスト内の問題がすべて訂正されるまでセーフモードで機能し続けます。問題がすべて訂正されると、Illustrator は通常モードで起動します。

レガシー情報：ファイルの運用 | 配置画像に関しての機能強化

複数画像の配置

外部ファイルを Illustrator ドキュメントに読み込むには、配置コマンドを使用する方法が一般的です。配置機能でサポートされているファイル形式、配置オプション、カラーが最も多いためです。ファイルを配置した後は、リンクパネルを使用して、ファイルの識別、選択、監視、更新を実行します。
Illustrator CC 以降では、ファイル＞配置での画像ファイルの配置で、複数のファイルを指定して配置することができます。また、これまでは原寸で中央に配置されていた画像を、ドラッグすることで任意のサイズで、任意の位置に配置できるようになりました。



カーソルと配置画像のサムネールが表示されます
「1/3」は、3 枚選択したうちの 1 枚目であることを表します

画像の埋め込み解除

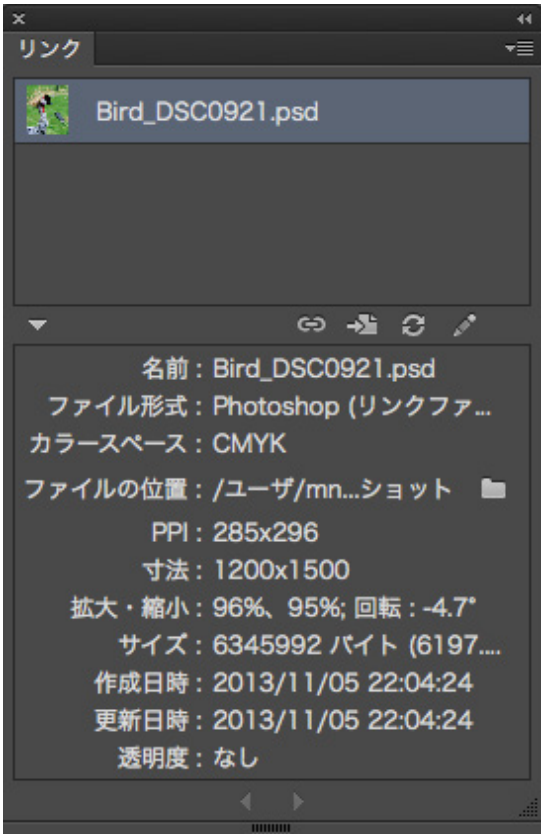
埋め込まれた画像の埋め込みを解除して、抽出された PSD または TIFF ファイルへのリンクとして置き換えることができます。埋め込み画像を選択し、リンクパネルメニューから埋め込みを解除を選択するか、コントロールパネルで「埋め込みを解除」をクリックします。抽出したファイルは Illustrator 以外で使用したり、編集することもできます。



アートワークの埋め込みが解除され、Illustrator ファイルにリンクされます。

リンクパネルの強化

配置されている画像の詳細を確認したい場合、リンクパネル上で対象の画像を選択しパネルの下部を参照します。Illustrator CC 以降では、これまで以上に詳細に配置画像の情報を確認することができるようになりました。
配置画像の有効解像度 (PPI) や拡大・縮小率、ファイルのカラースペース、透明情報が含まれるかどうかなど、配置画像に関する必要な情報を一目で確認することができます。

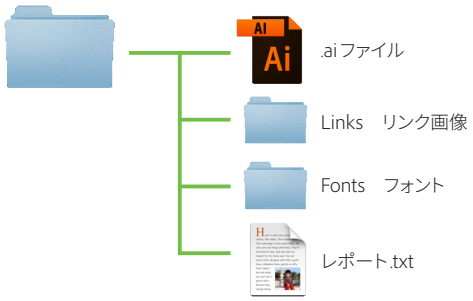


これまでのようにダイアログでの表示ではなく、パネル上で確認できるので便利です

ファイルのパッケージ

リンクされた画像、フォントなど、作成したドキュメントに使用されているすべてのファイルを 1 つのフォルダーに収集して、データを受け渡す際に必要なファイルを簡単に揃えることができます。ファイル＞パッケージを選択して、すべてのアセットを 1 か所にまとめます。ファイルをパッケージ化すると、Illustrator ドキュメント、必要なフォント、リンク画像、パッケージレポートが含まれたフォルダーが作成されます。パッケージレポートには、パッケージされたファイルに関する情報が含まれます。

パッケージフォルダーの構造



レガシー情報：ファイルの運用 | 出力

特色スウォッチのプロセス分解

特色スウォッチをプロセスカラーとして色分解出力する場合、注意点があります。

PANTONEやDICなどのカラーブックに掲載されている最近のスウォッチの多くは、Lab値で定義されています。その中で、DICカラーやTOYOカラーなどは、Lab値とともに従来通りのCMYK値も保持しており、表示や出力の際に選択できるようになっています。この場合、スウォッチパネルのサブメニューにある特色オプションのダイアログで、プロセスカラーに変換する際にどちらの値を使用するかを選択できます。どちらのカラーモードで変換されるかについては、カラーパネルやスウォッチパネルのリスト表示で確認することができます。このオプションはドキュメントごとに設定することができます。

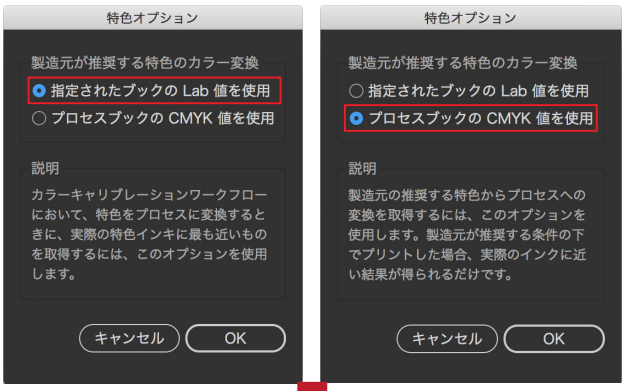
Illustrator CS6以降、工場出荷時に用意されるドキュメントプロファイルでは初期設定が変更され、Lab値が使用されるようになっています。Illustrator CS5以前で作成されたドキュメントの初期設定では、CMYK値が使用される形でした。

最終的に特色スウォッチをプロセスカラーとして出力する場合、特色オプションは「プロセスブックのCMYK値を使用」のチェックをオンにすることをお勧めします。ドキュメントごとに確認してください。

ドキュメントプロファイルとして指定する場合、工場出荷時のものではなく、参照を利用し、あらかじめ「プロセスブックのCMYK値を使用」のチェックをオンにしたIllustratorドキュメントを選択する方法をお勧めします。

もちろん、特色版として出力の場合にはこの限りではありません。また、新しく掲載されたPantone+カラーブックの一部は、CMYK値を持っておらず、Lab値のみ使用できるものがあります。

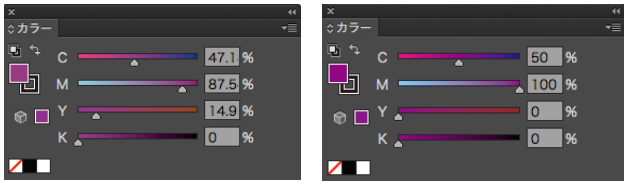
■スウォッチのパネルメニュー＞特色...



▲指定されたブックのLab値を使用（CS6/CCのデフォルト）

▲プロセスブックのCMYK値を使用（CS5以前のデフォルト）

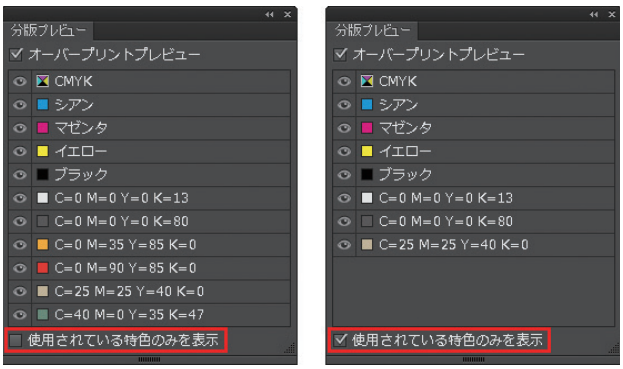
プロセスカラーに変換



分版プレビューパネルの機能強化

色分解出力やオーバープリントをプレビューするための分版プレビューパネルでは、これまでスウォッチで利用できる全ての特色がリスト表示されていました。Illustrator CCでは、アートワークで使用されている特色だけを表示するオプションが追加され、分版チェックが効率的に行えるようになっています。

■ウィンドウ＞分版プレビュー



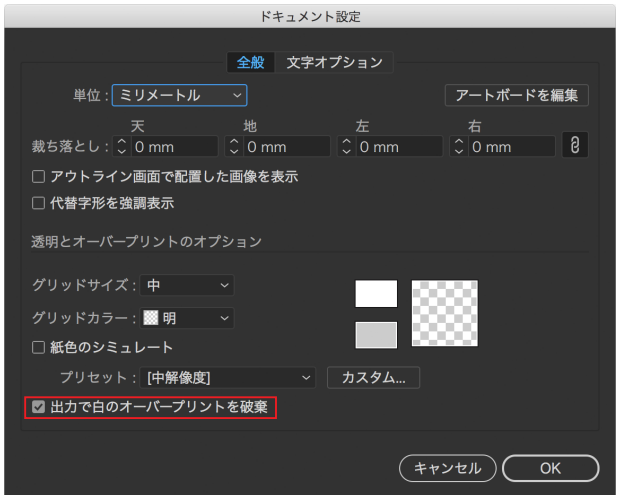
スウォッチで使用できるすべての特色が表示されている分版プレビューダイアログ（左）とアートワークで使用されている色だけが表示されている分版プレビューダイアログ（右）

白のオーバープリントを破棄

Illustrator で作成したアートワークに含まれる白のオブジェクトに意図しないオーバープリントが適用されることがあります。これは、オーバープリントプレビューを有効にするか、色分解出力しないと分かりません。このために生産プロセスに遅れが生じたり、再印刷が必要になる場合があります。Illustratorでは白のオブジェクトにオーバープリントが適用されると警告が表示されますが、ユーザーが予期できない状況で白のオーバープリントが発生する場合もあります。

Illustrator CCから、ドキュメント設定ダイアログおよびプリントダイアログに白のオーバープリントを破棄するためのオプションが追加され、白のオーバープリント属性を削除できるようになりました。このオプションは、どちらのダイアログでも初期設定でオンになっています。以前のバージョンのIllustratorドキュメントをIllustrator最新版で開いた場合も有効です。都度確認、修正することなく、安心して印刷および出力機能を使用することができます。

■ファイル＞ドキュメント設定



デフォルトでチェックが付いています。

レガシー情報：以前のバージョンとの互換性 | ドキュメントの書き出し

以前のバージョンのIllustratorと互換性のあるドキュメントを作成するには

Illustrator最新版でも、保存ダイアログからIllustrator 2020形式および以前のバージョンと互換性のあるドキュメントを作成することができます。

作業中のアートワークはIllustrator 2020バージョンで保存し、データ交換が必要な場合に目的の形式で書き出すことをお勧めします。

テキストの互換性

テキストの互換性に関して、Illustrator CS以前とCS以降では挙動が大きく異なります。

Illustrator CS以降のテキストエンジンはIllustrator最新版にいたるまで共通です。特にIllustrator CS3以降のバージョンにおいてはテキストの互換性は非常に高く保たれています。

CS3以降では、テキストの互換性に関する主な注意点は3点のみです。

ひとつ目は、パス上文字を使用している場合です。Illustrator CS5以降、パス上文字のテキスト配置が最適化され、パスが折り返していたりカーブしている際に見やすくなるよう改善されました。このため、Illustrator CC～CS5と以前のバージョンのIllustrator CS～CS4間では、テキストがリフローする場合があります。以前のバージョンで作成したパス上文字テキストを編集しようとすると警告ダイアログボックスが表示され、新しい文字組みエンジンを使用して文字位置を修正するか、レイアウトをそのままにするかを選択できます。

Illustrator CC 2014以降で、両端揃えの場合のソフト改行処理の改善、異体字セレクタへの対応の2点が変更されました。

ソフト改行処理の改善については、以前のバージョンとのデータ交換時、データの再現性が優先されます。

異体字セレクタを利用した場合、以前のバージョンで開くと、異体字ではなく例示字形で表示されます。異体字セレクタではなく、字形パネルで異体字に切り替えた場合には、以前のバージョンでも字形が保持され互換性が保たれます。



10.0以前のバージョンの互換性でドキュメントを保存した場合、Illustrator最新版で作成したレイアウトを保持するために、テキストオブジェクトが分割される場合があります。この場合、ポイントテキストに分割にされる場合や、アウトラインに分割される場合があります。

より正確にレイアウトを保持したい場合には、ドキュメント設定のオプション項目の書き出しで「テキストのアピアランスを保持」を選択してください。

ポイントテキストに分割された場合、環境によって正確にレイアウトが保持されない場合があります。

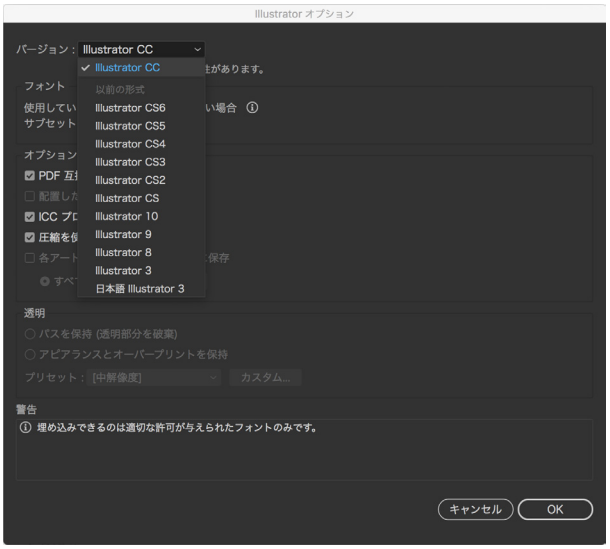
入稿のためのドキュメントを保存する場合には、保存する前にあらかじめテキストのアウトラインをとることをお勧めします。

アートワークの互換性

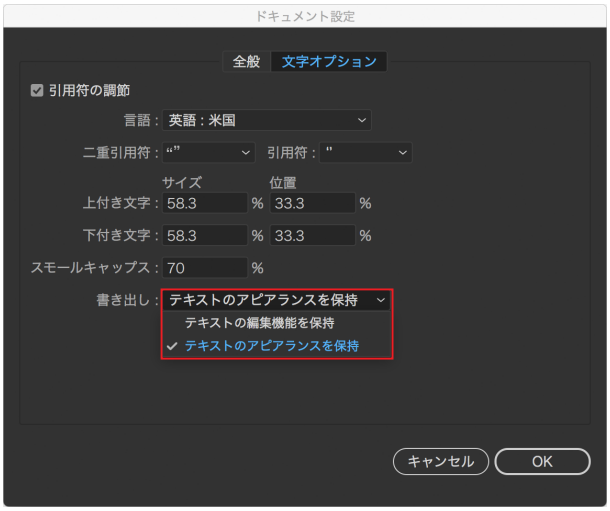
以前のバージョンでドキュメントを保存した場合、Illustratorで作成したアートワークを保持するために、オブジェクトが分割される場合があります。

詳しくは次ページ掲載の表をご参照ください。

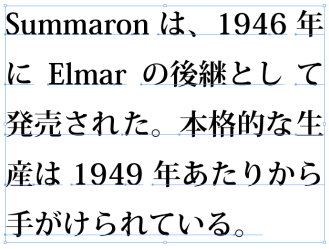
Illustrator書類形式で保存する場合



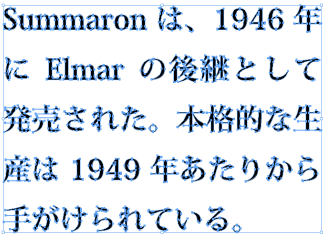
ドキュメント設定 / テキストのアピアランスを保持



ポイントテキストに分割された場合



アウトラインに分割された場合



以前のバージョンとの互換性：主なデータの互換性一覧

	2027 v 31	2026 v 30	2025 v 29	2024 v 28	2023 v 27	2022 v 26	2021 v 25	2020 v 24	2019 v 23	CC2018 v 22	CC2017 v 21	CC2015.3 v 20	CC2015 v 19	CC2014 v 18	CC v 17	CS6 v 16	CS5 v 15	CS4 v 14	CS3 v 13	CS2 v 12	CS v 11	10	9	8	3日本語
生成オブジェクト	○	○	○	○	分　割																				
コンセプトからベクター生成	○	#	分　割																						
ターンテーブル	○	○	生成オブジェクトに分割		分　割																				
モックアップ	○	○	○	○	分　割																				
パス上オブジェクト	○	○	○	分　割																					
寸法オブジェクト	○	○	○	#	分　割																				
クロスと重なり	○	○	○	○	○	分　割																			
リピートオブジェクト	○	○	○	○	○	○	○	分　割																	
シェイプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(分割)									分　割	
シェイプ｜スター	○	○	○	#	○(分割)																			分　割	
パペットワープ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(分割)									分　割	
エンベロープ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割		
パスファインダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割		
画像トレース（v 29–）	○	○	○	○(拡張すると結果が異なる場合があります)													分　割								
画像トレース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割								
ライブトレース（CS5–CS2）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	分　割				
ライブペイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割				
レイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
レイヤー｜サブレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
透明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割	×
効果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割	×
効果｜ドロップシャドウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割								×
効果｜光彩（外側）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割								×
効果｜3Dとマテリアル	○	○	○	○	○	○	○(分割)	分　割																	×
効果｜3Dとマテリアル｜膨張	○	○	○	○	○	#	○(分割)	分　割																	×
効果｜3Dとマテリアル｜遠近感	○	○	○	○	○	#	○(分割)	分　割																	×
効果｜3Dとマテリアル｜ねじりとテーパー	○	○	○	○	#	○(分割)		分　割																	×
効果｜3D（クラシック）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割			
効果｜落書き	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割			
効果｜ワープ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割		
アピアランス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割	
アピアランス：非表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
グラデーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割
グラデーション｜知覚的	○	○	クラシックに変換																						分　割
グラデーション｜ディザ	○	○	分　割																						×
線のグラデーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アウトライン								分割／アウトライン
フリーグラデーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割															×
グラデーションメッシュ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割
ブレンド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割
ブレンド｜イージング、アピアランス	○	#	○(削除または分割・拡張以外の編集はできません)																						分　割
パターン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カラーグループ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	グループ解除					
カラーグループ｜グラデーション、パターン	○	○	#	グループ解除																					
ブラシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割	
ブラシ｜画像使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割									×
パターンブラシ｜コーナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アウトライン									
線｜可変線幅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アウトライン							
線｜破線：角処理優先	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分割／アウトライン							
線｜矢印	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割							
線｜線の基準	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割				
遠近グリッド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
（スタティック）シンボル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割		
ダイナミックシンボル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	分　割										
日本語組版、多言語組版	○	○	#	#	文字位置がずれる可能性																	分割／アウトライン			
ベタ組み、ツメ組み	○	#	文字位置がずれる可能性																			分割／アウトライン			
カーニング｜オプティカル	○	○	○	○	#	文字位置がずれる可能性																分割／アウトライン			
箇条書き	○	○	○	○	○	#	分　割		分　割													分割／アウトライン			
テキストの垂直方向揃え	○	○	○	○	○	○	○	○	分　割													分割／アウトライン			
OpenTypeフォント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
字形（異体字）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アウトライン			
OpenType機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	分割／アウトライン			
バリアブルフォント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
百千鳥VF	○	○	#	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
カラーフォント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
PostScript Type1 フォント	×	×	×	×	#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋め込み画像	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
AVIF形式	○	○	○	○	○	#	埋め込み：○、リンク：×																		×
HEIF、WebP形式	○	○	○	○	○	○	埋め込み：○、リンク：×																		×
大きなカンバスサイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	× (1/10 に縮小)																
アートボードサイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×*
アートボード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1つのみ保持 **						
アートボード｜背景色	○	○	透明に変換																						
単位｜ピクセル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
単位｜級／歯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
選択範囲の保存	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
白のオーバープリントを破棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
書類のカラーモード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	CMYKに変換	
RGBカラー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	CMYKに変換
プロファイルの指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
スライス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
URL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
メタデータ（XMP）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

マイナーバージョンによって異なります。詳細は9ページ参照。　* カスタム：457.2mm × 457.2mm に設定されます。　** アートボードのガイドがレイヤーとともに作成されます。　※「Illustrator 3」互換形式は日本語をサポートしていません。

アドビ株式会社　〒141-0032　東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud, the Creative Cloud logo, Illustrator and InDesign are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. OpenType, and Windows are registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Mac, macOS and Macintosh are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.
© 2026 Adobe. All rights reserved.